

---

## 第3章 アンケート調査結果

---

## 第3章 アンケート調査結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査目的

団塊世代を含む一般市民の、市民活動や移住・2地域居住に関する取り組み現状と意識を把握することを目的とする。(第3回公開委員会時に、シンポジウム来場者を対象に実施)

アンケート調査実施日:平成20年3月5日(水)

#### (2) 主な調査項目

##### 1) 属性

年齢

性別

居住地

職業

##### 2) 地域社会への回帰・参加について

市民活動への参加状況

活動分野

参加していない理由

市民活動への今後の参加意向

参加したい分野

市民活動への今後の参加形態

今後、ともに活動したい年代

市民活動団体・活動内容の認知

市民活動団体・活動内容の認知方法

保有しているキャリア・スキル

地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人

リーダー育成講座・研修への参加意向

リーダー育成講座・研修への希望

リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと

地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向

地方・田舎(農山漁村地域)との2地域居住の意向

移住する場合に気になること

2地域居住する場合に気になること

移住、2地域居住を検討する方法

#### (3) 集計数・集計方法

・シンポジウム来場者中、87人から回答を得た。(シンポジウム参加者数141名 回収率61.7%)

・団塊世代の行動・意識を把握するため、全ての設問について年齢別のクロス集計を行った。

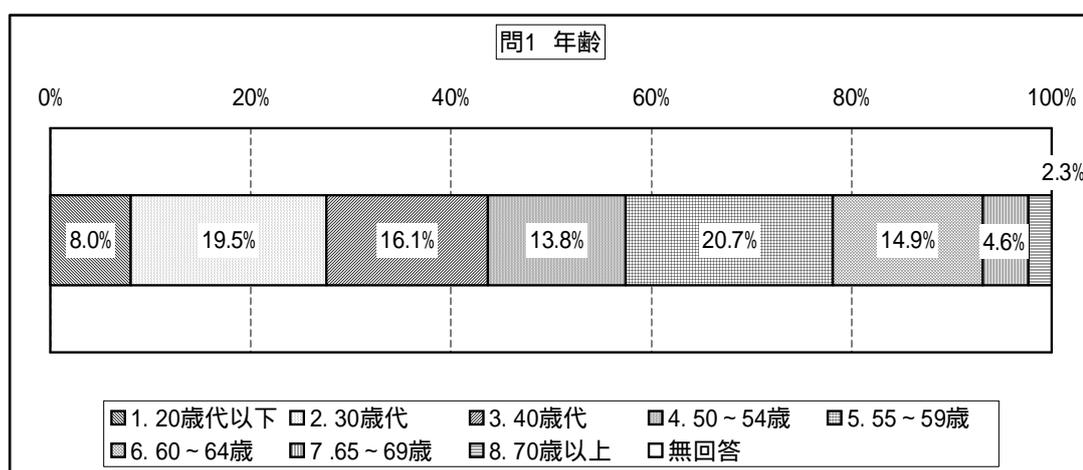
## 2. 調査結果

### (1) 回答者の属性

回答のあった 87 人の属性は、以下の通りである。

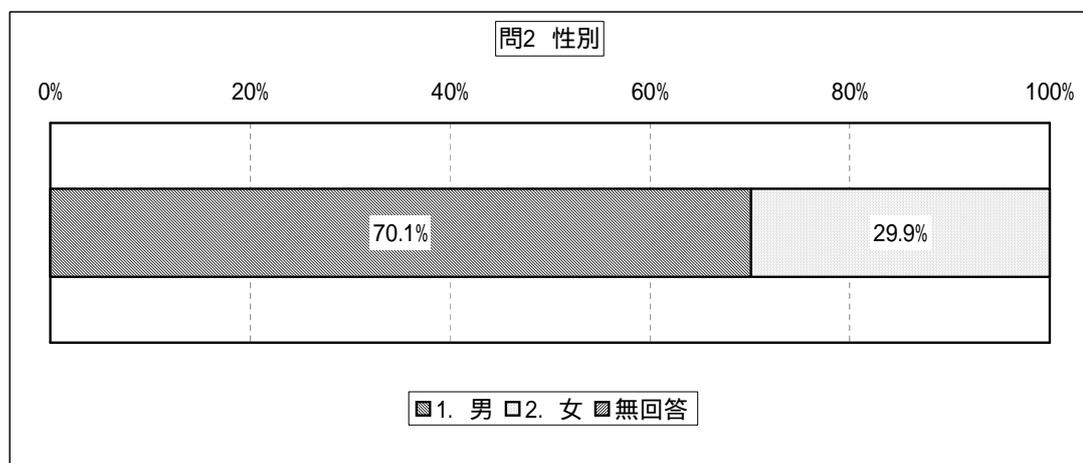
#### 年齢

- ・回答者の年齢構成は、55～59歳 20.7%、30歳代 19.5%、40歳代 16.1%、60～64歳 14.9%、50～54歳 13.8%などの順となっている。
- ・団塊世代(狭義/昭和 22～24 年生まれ、今年 59～61 歳)についてみると、55～59 歳 (20.7%)、60歳～64歳(14.9%)を合わせて 35.6%となっており、ポスト団塊世代(55～58 歳)、プレ団塊世代(62～64 歳)を含め、回答者の 1/3 強が広義の団塊世代となっている。
- ・以下の年齢別クロス集計においては主に、ポスト・プレ団塊世代を含む 55～59 歳及び 60～64 歳の年齢区分に着目して考察を行う。



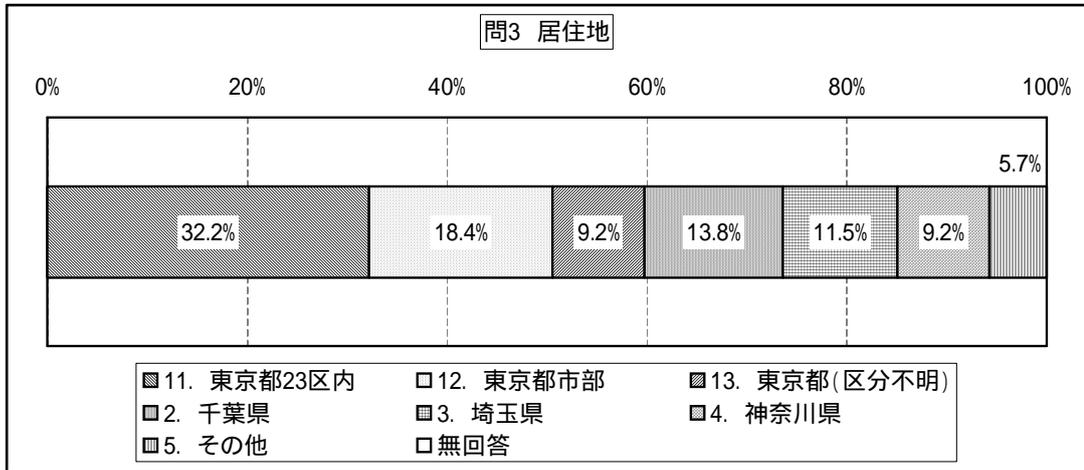
#### 性別

- ・男性 70.1%、女性 29.9%となっている。



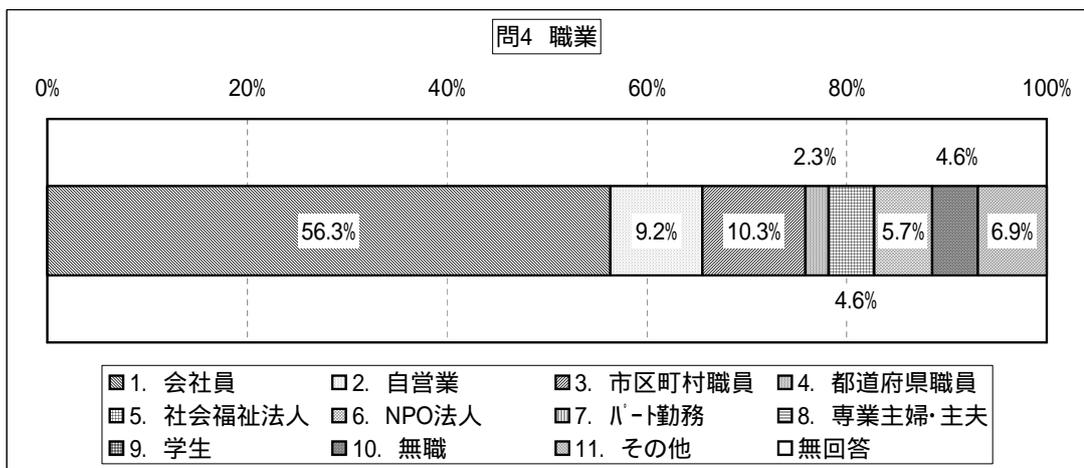
## 居住地

・東京都59.8%（うち23区内32.2%、市部18.4%、不明9.2%）、千葉県13.8%、埼玉県11.5%、神奈川県9.2%となっている。



## 職業

・会社員56.3%、市区町村職員10.3%などとなっている。

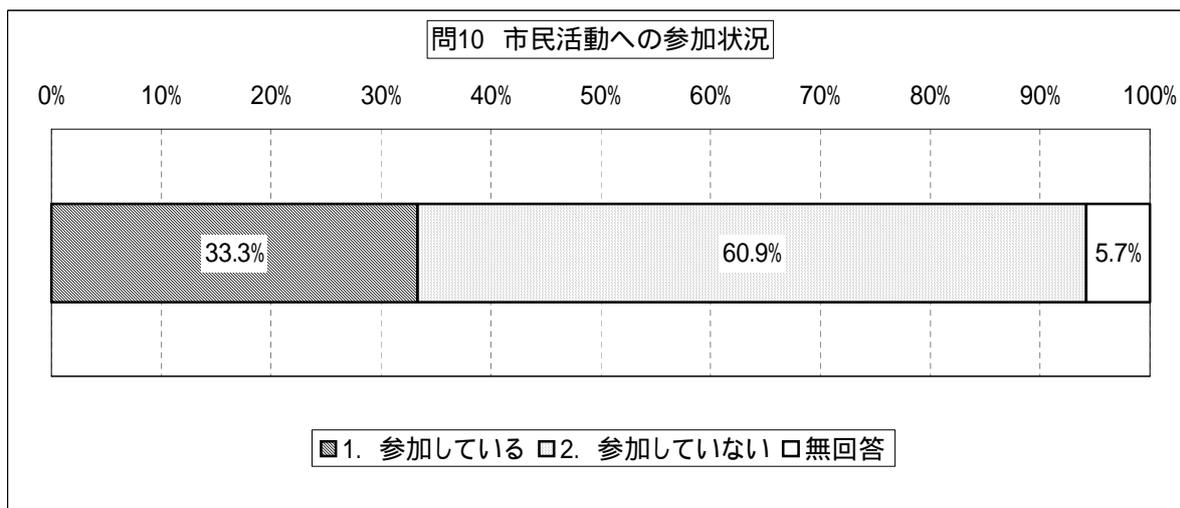


(2) 回答結果

地域社会への回帰・参加について

問10. 市民活動(ボランティア活動、NPO活動、コミュニティビジネスなど)への参加状況(SA)

- ・ 33.3%が現在、市民活動に「参加している」とし、60.9%が「参加していない」としている。
- ・ 年齢区分別にみると、55～59歳では44.4%、60～64歳では38.5%が「参加している」としている。



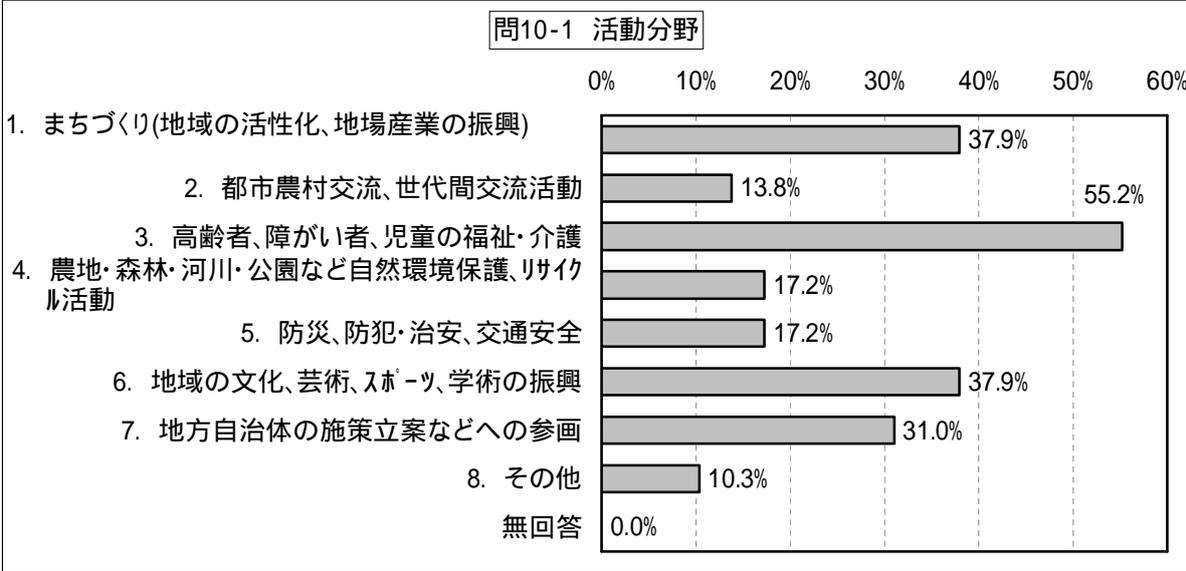
問10 市民活動への参加状況

	件数	比率
1. 参加している	29	33.3%
2. 参加していない	53	60.9%
無回答	5	5.7%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 参加している	0 0.0%	1 5.9%	5 35.7%	5 41.7%	8 44.4%	5 38.5%	3 75.0%	2 100.0%	29 33.3%
2. 参加していない	6 85.7%	14 82.4%	8 57.1%	7 58.3%	10 55.6%	8 61.5%	0 0.0%	0 0.0%	53 60.9%
無回答	1 14.3%	2 11.8%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	5 5.7%

問 10-1 . 活動分野 (MA)

・ 問 10 で市民活動に「参加している」とした人のうち、活動分野としては、「高齢者、障がい者、児童の福祉・介護」(55.2%)、「まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)」、「地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興」(各 37.9%)などの順となっている。



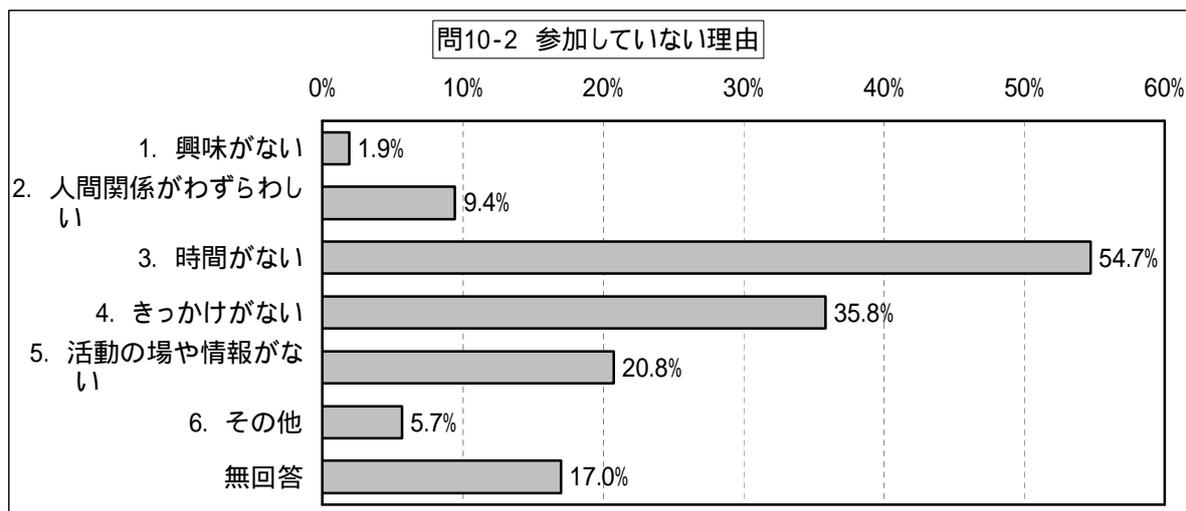
問10-1 活動分野

	件数	比率
1. まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)	11	37.9%
2. 都市農村交流、世代間交流活動	4	13.8%
3. 高齢者、障がい者、児童の福祉・介護	16	55.2%
4. 農地・森林・河川・公園など自然環境保護、リサイクル活動	5	17.2%
5. 防災、防犯・治安、交通安全	5	17.2%
6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	11	37.9%
7. 地方自治体の施策立案などへの参画	9	31.0%
8. その他	3	10.3%
無回答	0	0.0%
全体	29	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	0 0.0%	1 3.4%	5 17.2%	5 17.2%	8 27.6%	5 17.2%	3 10.3%	2 6.9%	29 100.0%
1. まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)	0 0.0%	1 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 25.0%	3 60.0%	2 66.7%	1 50.0%	11 37.9%
2. 都市農村交流、世代間交流活動	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 20.0%	0 0.0%	2 100.0%	4 13.8%
3. 高齢者、障がい者、児童の福祉・介護	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	3 60.0%	6 75.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 55.2%
4. 農地・森林・河川・公園など自然環境保護、リサイクル活動	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 12.5%	2 40.0%	1 33.3%	0 0.0%	5 17.2%
5. 防災、防犯・治安、交通安全	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 25.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 17.2%
6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 50.0%	3 60.0%	2 66.7%	1 50.0%	11 37.9%
7. 地方自治体の施策立案などへの参画	0 0.0%	1 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 12.5%	3 60.0%	1 33.3%	0 0.0%	9 31.0%
8. その他	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 10-2. 参加していない理由(MA)

・ 問 10 で市民活動に「参加していない」とした人のうち、その理由としては、「時間がない」(54.7%)、「きっかけがない」(35.8%)、「活動の場や情報がない」(20.8%)などの順となっている。「興味がない」としたのは1人であった。



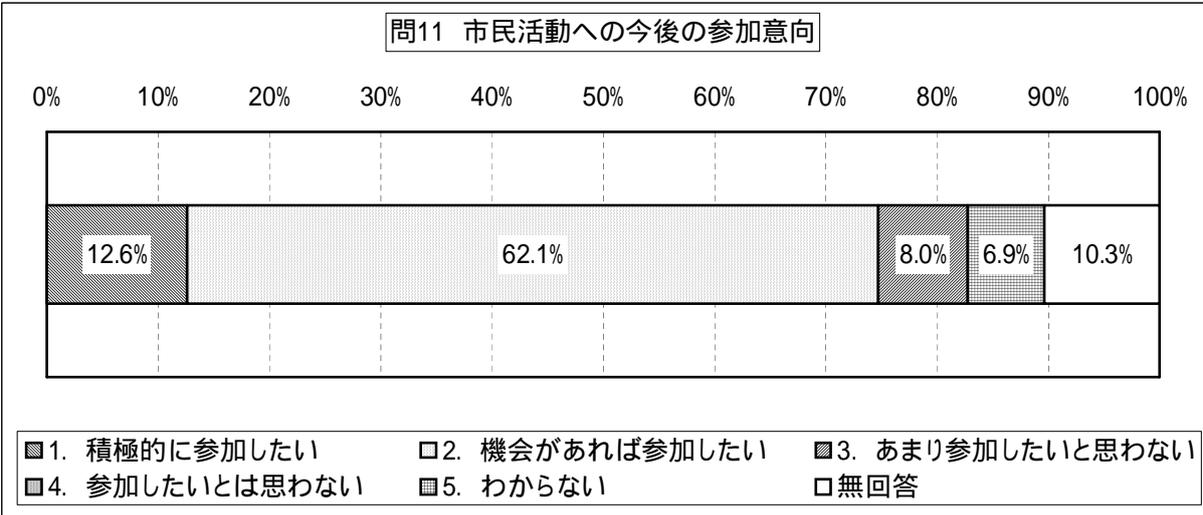
問10-2 参加していない理由

	件数	比率
1. 興味がない	1	1.9%
2. 人間関係がわずらわしい	5	9.4%
3. 時間がない	29	54.7%
4. きっかけがない	19	35.8%
5. 活動の場や情報がない	11	20.8%
6. その他	3	5.7%
無回答	9	17.0%
全体	53	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	6 11.3%	14 26.4%	8 15.1%	7 13.2%	10 18.9%	8 15.1%	0 0.0%	0 0.0%	53 100.0%
1. 興味がない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
2. 人間関係がわずらわしい	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 14.3%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.4%
3. 時間がない	3 50.0%	11 78.6%	4 50.0%	4 57.1%	6 60.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	29 54.7%
4. きっかけがない	3 50.0%	6 42.9%	3 37.5%	2 28.6%	4 40.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	19 35.8%
5. 活動の場や情報がない	1 16.7%	2 14.3%	2 25.0%	1 14.3%	2 20.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 20.8%
6. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.7%
無回答	3 50.0%	1 7.1%	1 12.5%	2 28.6%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 17.0%

問 11. 市民活動への今後の参加意向(SA)

- ・ 市民活動への今後の参加意向として、「機会があれば参加したい」(62.1%)、「積極的に参加したい」(12.6%)を合わせて、74.7%が今後、市民活動に「参加したい」としている。
- ・ 年齢区分別にみると、55～59歳の77.8%、60歳～64歳の84.6%が、今後「参加したい」としている。
- ・ 問10で「現在、市民活動に参加している」とした人のうち79.3%が、今後、新たに別の分野の市民活動に「参加したい」としている。
- ・ 問10で「現在、市民活動に参加していない」とした人のうち79.3%が、今後は「参加したい」としている。さらにこれを団塊世代(55～64歳)についてみると、「現在、市民活動に参加していない」とした人のうち77.8%が、今後は「参加したい」としている。



問11 市民活動への今後の参加意向

	件数	比率
1. 積極的に参加したい	11	12.6%
2. 機会があれば参加したい	54	62.1%
3. あまり参加したいと思わない	7	8.0%
4. 参加したいとは思わない	0	0.0%
5. わからない	6	6.9%
無回答	9	10.3%
全体	87	100.0%

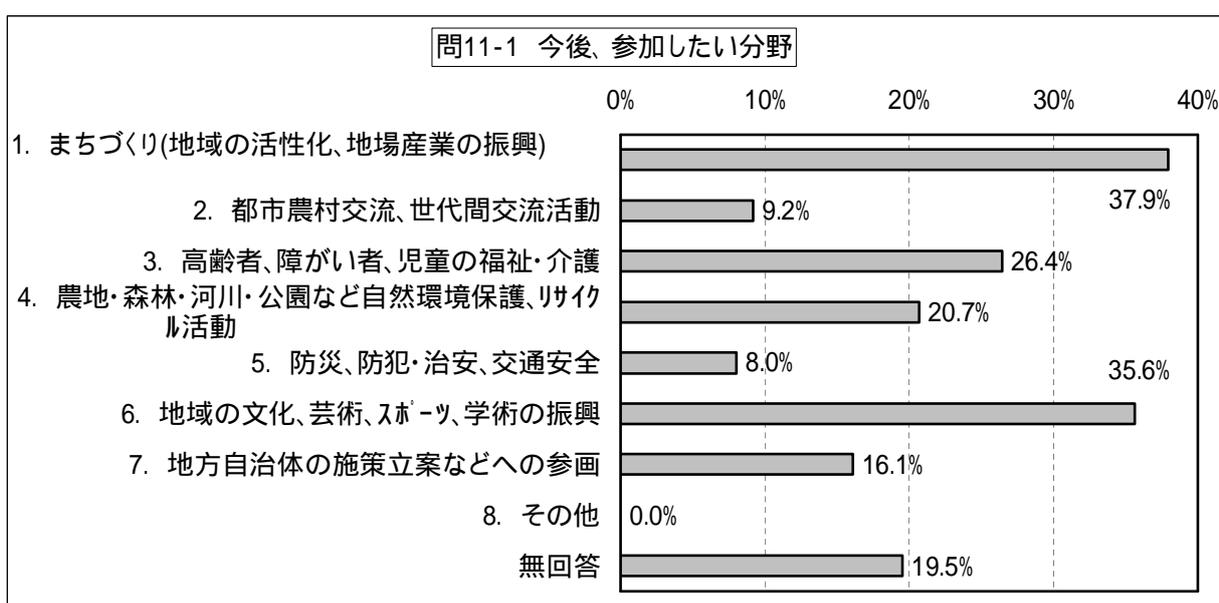
	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 積極的に参加したい	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 8.3%	4 22.2%	2 15.4%	2 50.0%	1 50.0%	11 12.6%
2. 機会があれば参加したい	5 71.4%	13 76.5%	9 64.3%	6 50.0%	10 55.6%	9 69.2%	1 25.0%	1 50.0%	54 62.1%
3. あまり参加したいと思わない	0 0.0%	2 11.8%	2 14.3%	0 0.0%	2 11.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.0%
4. 参加したいとは思わない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5. わからない	1 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	3 25.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.9%
無回答	1 14.3%	2 11.8%	1 7.1%	2 16.7%	1 5.6%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	9 10.3%

問10 市民活動への参加(不明除く) × 問1 年齢 × 問11 市民活動への今後の参加意向 上段:件数 下段:%

		問10 市民活動への参加										
		1. 参加している										
		合計	小計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	不明
問11 市民活動への今後の参加意向	合計	87	29	-	1	5	5	8	5	3	2	-
		100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	1. 積極的に参加したい	11	8	-	-	-	1	2	2	2	1	-
		12.6	27.6	-	-	-	20.0	25.0	40.0	66.7	50.0	-
	2. 機会があれば参加したい	54	15	-	-	4	2	5	2	1	1	-
		62.1	51.7	-	-	80.0	40.0	62.5	40.0	33.3	50.0	-
	3. あまり参加したいと思わない	7	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-
		8.0	6.9	-	100.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	4. 参加したいとは思わない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5. わからない	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	9	4	-	-	-	2	1	1	-	-	-
		10.3	13.8	-	-	-	40.0	12.5	20.0	-	-	-
		2. 参加していない										
		合計	小計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	不明
	合計	87	53	6	14	8	7	10	8	-	-	-
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	1. 積極的に参加したい	11	3	-	-	1	-	2	-	-	-	-
		12.6	5.7	-	-	12.5	-	20.0	-	-	-	-
	2. 機会があれば参加したい	54	39	5	13	5	4	5	7	-	-	-
		62.1	73.6	83.3	92.9	62.5	57.1	50.0	87.5	-	-	-
	3. あまり参加したいと思わない	7	5	-	1	1	-	2	1	-	-	-
		8.0	9.4	-	7.1	12.5	-	20.0	12.5	-	-	-
	4. 参加したいとは思わない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5. わからない	6	6	1	-	1	3	1	-	-	-	-
		6.9	11.3	16.7	-	12.5	42.9	10.0	-	-	-	-
	不明	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 11-1. 今後、参加したい分野 (MA)

- ・ 今後参加したい分野としては、「まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)」(37.9%)、「地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興」(35.6%)、「高齢者、障がい者、児童の福祉・介護」(26.4%)などの順となっている。
- ・ 問10-1で現在、「高齢者、障がい者、児童の福祉・介護」、「まちづくり」、「地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興」に参加しているとした人について、今後参加したい分野をみると、いずれも「まちづくり」の割合が最も高くなっている。



問11-1 今後、参加したい分野

	件数	比率
1. まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)	33	37.9%
2. 都市農村交流、世代間交流活動	8	9.2%
3. 高齢者、障がい者、児童の福祉・介護	23	26.4%
4. 農地・森林・河川・公園など自然環境保護、リサイクル活動	18	20.7%
5. 防災、防犯・治安、交通安全	7	8.0%
6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	31	35.6%
7. 地方自治体の施策立案などへの参画	14	16.1%
8. その他	0	0.0%
無回答	17	19.5%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. まちづくり(地域の活性化、地場産業の振興)	1 14.3%	7 41.2%	5 35.7%	3 25.0%	7 38.9%	7 53.8%	2 50.0%	1 50.0%	33 37.9%
2. 都市農村交流、世代間交流活動	1 14.3%	1 5.9%	0 0.0%	2 16.7%	1 5.6%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	8 9.2%
3. 高齢者、障がい者、児童の福祉・介護	3 42.9%	4 23.5%	3 21.4%	1 8.3%	7 38.9%	4 30.8%	1 25.0%	0 0.0%	23 26.4%
4. 農地・森林・河川・公園など自然環境保護、リサイクル活動	1 14.3%	4 23.5%	0 0.0%	2 16.7%	5 27.8%	4 30.8%	0 0.0%	2 100.0%	18 20.7%
5. 防災、防犯・治安、交通安全	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	7 8.0%
6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	3 42.9%	4 23.5%	6 42.9%	2 16.7%	8 44.4%	7 53.8%	1 25.0%	0 0.0%	31 35.6%
7. 地方自治体の施策立案などへの参画	1 14.3%	3 17.6%	2 14.3%	1 8.3%	1 5.6%	4 30.8%	2 50.0%	0 0.0%	14 16.1%
8. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 28.6%	4 23.5%	4 28.6%	2 16.7%	3 16.7%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	17 19.5%

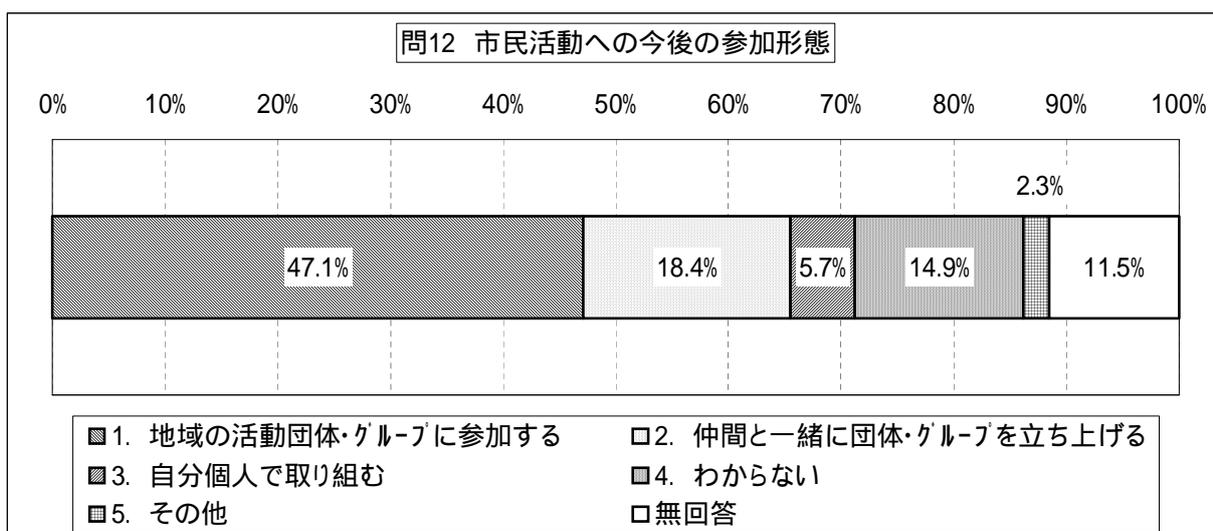
問10-1 活動分野 × 問11-1 参加したい分野

上段:件数 下段:%

		問10-1 活動分野										
		合計	1. まちづくり	2. 都市農村交流、世代間交流活動	3. 福祉・介護	4. 自然環境保護、リサイクル活動	5. 防災、防犯・治安、交通安全	6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	7. 地方自治体の施策立案などへの参画	8. その他	不明	
問11-1 参加したい分野	合計	29 100.0	11 100.0	3 100.0	16 100.0	5 100.0	5 100.0	11 100.0	9 100.0	3 100.0	-	
	1. まちづくり	15 51.7	9 81.8	2 66.7	11 68.8	2 40.0	2 40.0	7 63.6	7 77.8	1 33.3	-	
	2. 都市農村交流、世代間交流活動	3 10.3	1 9.1	1 33.3	2 12.5	3 60.0	1 20.0	2 18.2	1 11.1	-	-	
	3. 福祉・介護	9 31.0	5 45.5	1 33.3	6 37.5	2 40.0	2 40.0	4 36.4	3 33.3	2 66.7	-	
	4. 自然環境保護、リサイクル活動	6 20.7	2 18.2	3 100.0	2 12.5	2 40.0	2 40.0	2 18.2	2 22.2	-	-	
	5. 防災、防犯・治安、交通安全	3 10.3	2 18.2	1 33.3	2 12.5	3 60.0	2 40.0	3 27.3	1 11.1	-	-	
	6. 地域の文化、芸術、スポーツ、学術の振興	11 37.9	5 45.5	1 33.3	8 50.0	2 40.0	2 40.0	4 36.4	4 44.4	1 33.3	-	
	7. 地方自治体の施策立案などへの参画	8 27.6	6 54.5	1 33.3	5 31.3	2 40.0	3 60.0	4 36.4	4 44.4	1 33.3	-	
	8. その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	2 6.9	-	-	-	-	-	2 18.2	-	-	-	-

問 12. 市民活動への今後の参加形態(SA)

- ・「地域の活動団体・グループに参加する」(47.1%)、「仲間と一緒に団体・グループを立ち上げる」(18.4%)、「わからない」(14.9%)、「自分個人で取り組む」(5.7%)の順となっている。
- ・年齢区分別にみると、55～59歳では38.9%、60～64歳では76.9%が「地域の活動団体・グループに参加する」としている。また、59歳以下では約2割が「わからない」としているのに対し、60歳以上ではほぼ全員が団体・グループでの活動を望んでいる。
- ・一方、「自分個人で取り組む」とした5人のうち4人は55～59歳である。



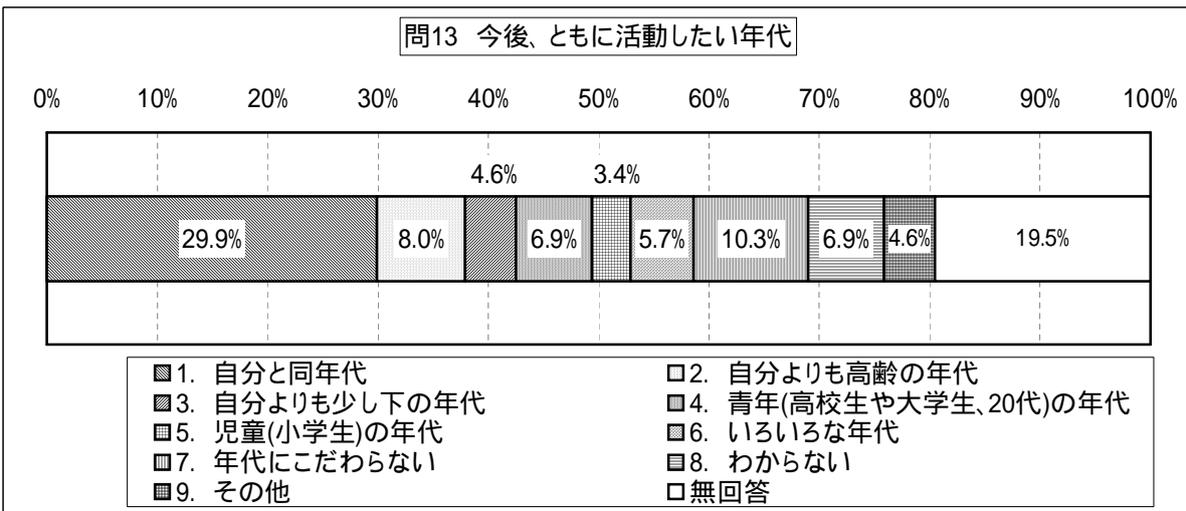
問12 市民活動への今後の参加形態

	件数	比率
1. 地域の活動団体・グループに参加する	41	47.1%
2. 仲間と一緒に団体・グループを立ち上げる	16	18.4%
3. 自分個人で取り組む	5	5.7%
4. わからない	13	14.9%
5. その他	2	2.3%
無回答	10	11.5%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 地域の活動団体・グループに参加する	3 42.9%	8 47.1%	3 21.4%	6 50.0%	7 38.9%	10 76.9%	2 50.0%	2 100.0%	41 47.1%
2. 仲間と一緒に団体・グループを立ち上げる	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	4 33.3%	2 11.1%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	16 18.4%
3. 自分個人で取り組む	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%
4. わからない	2 28.6%	3 17.6%	2 14.3%	2 16.7%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 14.9%
5. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%
無回答	1 14.3%	2 11.8%	4 28.6%	0 0.0%	1 5.6%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	10 11.5%

問 13. 今後、ともに活動したい年代(SA)

- ・「自分と同年代」(29.9%)、「年代にこだわらない」(10.3%)、「自分よりも高齢の年代」(8.0%)などの順となっている。
- ・年齢区分別にみると、55～59歳(27.8%)、60～64歳(38.5%)とも、「自分と同年代」の割合が最も高い。一方、自分と異なる年代と活動したい(「年代にこだわらない」を含む)とするのは、55～59歳では27.8%、60～64歳では46.2%となっている。



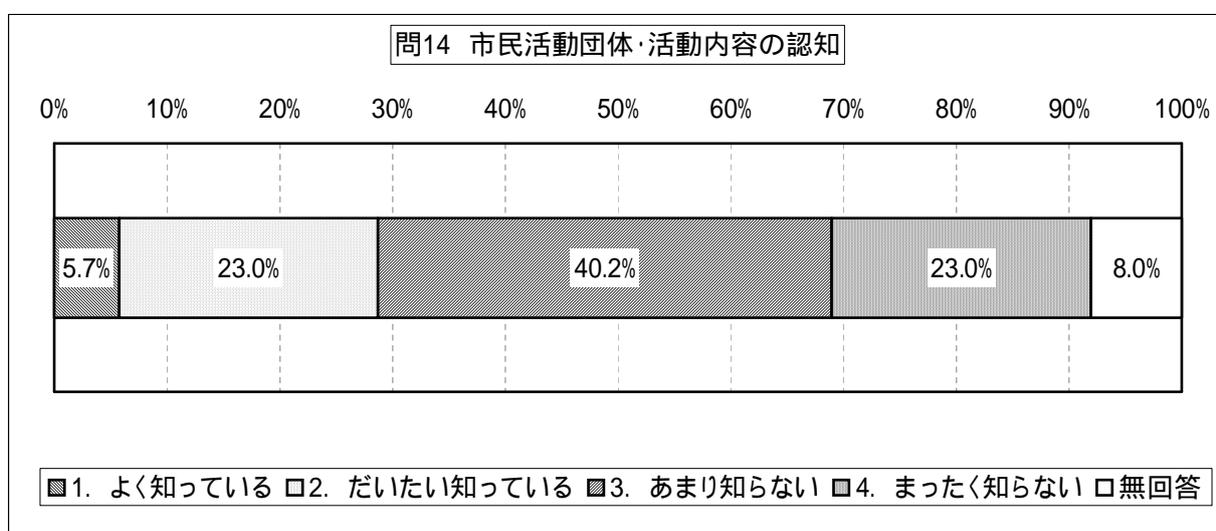
問13 今後、ともに活動したい年代

	件数	比率
1. 自分と同年代	26	29.9%
2. 自分よりも高齢の年代	7	8.0%
3. 自分よりも少し下の年代	4	4.6%
4. 青年(高校生や大学生、20代)の年代	6	6.9%
5. 児童(小学生)の年代	3	3.4%
6. いろいろな年代	5	5.7%
7. 年代にこだわらない	9	10.3%
8. わからない	6	6.9%
9. その他	4	4.6%
無回答	17	19.5%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 自分と同年代	2 28.6%	7 41.2%	1 7.1%	4 33.3%	5 27.8%	5 38.5%	1 25.0%	1 50.0%	26 29.9%
2. 自分よりも高齢の年代	2 28.6%	1 5.9%	1 7.1%	2 16.7%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.0%
3. 自分よりも少し下の年代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 7.7%	1 25.0%	1 50.0%	4 4.6%
4. 青年(高校生や大学生、20代)の年代	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	0 0.0%	1 5.6%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.9%
5. 児童(小学生)の年代	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%
6. いろいろな年代	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%
7. 年代にこだわらない	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	1 8.3%	2 11.1%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	9 10.3%
8. わからない	1 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	1 8.3%	2 11.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.9%
9. その他	0 0.0%	2 11.8%	1 7.1%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.6%
無回答	2 28.6%	2 11.8%	4 28.6%	2 16.7%	5 27.8%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	17 19.5%

問 14. 市民活動団体・活動内容の認知(SA)

- ・自分が住んでいる地域にどのような団体・グループがあって、どのような活動が行われているかについて、「よく知っている」(5.7%)、「だいたい知っている」(23.0%)を合わせて 28.7%が「知っている」とし、「あまり知らない」(40.2%)、「まったく知らない」(23.0%)を合わせて 63.2%が「知らない」としている。
- ・年齢区分別にみると、59 歳以下の約 7 割以上が「知らない」としている。
- ・問 10 で「現在、市民活動に参加している」とした人であっても、約 3 割(34.4%)が「知らない」としている。



問14 市民活動団体・活動内容の認知

	件数	比率
1. よく知っている	5	5.7%
2. だいたい知っている	20	23.0%
3. あまり知らない	35	40.2%
4. まったく知らない	20	23.0%
無回答	7	8.0%
全体	87	100.0%

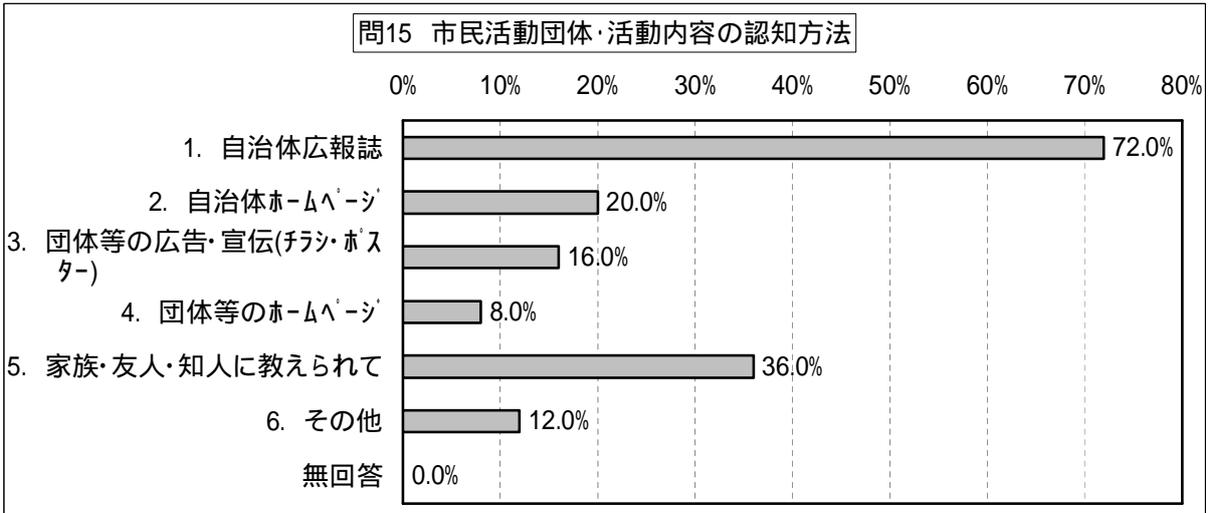
	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	5 5.7%
2. だいたい知っている	0 0.0%	1 5.9%	5 35.7%	4 33.3%	3 16.7%	4 30.8%	1 25.0%	2 100.0%	20 23.0%
3. あまり知らない	2 28.6%	10 58.8%	5 35.7%	5 41.7%	9 50.0%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	35 40.2%
4. まったく知らない	4 57.1%	3 17.6%	3 21.4%	3 25.0%	3 16.7%	3 23.1%	1 25.0%	0 0.0%	20 23.0%
無回答	1 14.3%	3 17.6%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	7 8.0%

問10 市民活動への参加 × 問14 市民活動団体・活動内容の認知 上段:件数 下段:%

		問10 市民活動への参加			
		合計	1. 参加している	2. 参加していない	不明
問14 市民活動団体・活動内容の認知	合計	87 100.0	29 100.0	53 100.0	5 100.0
	1. よく知っている	5 5.7	4 13.8	1 1.9	- -
	2. だいたい知っている	20 23.0	14 48.3	5 9.4	1 20.0
	3. あまり知らない	35 40.2	9 31.0	26 49.1	- -
	4. まったく知らない	20 23.0	1 3.4	19 35.8	- -
	不明	7 8.0	1 3.4	2 3.8	4 80.0

問 15. 市民活動団体・活動内容の認知方法 (MA)

- ・ 問 14 で、市民活動団体・活動内容について「よく知っている」、「だいたい知っている」とした人のうち、その認知方法としては、「自治体広報誌」(72.0%)、「家族・友人・知人に教えられて」(36.0%)、「自治体ホームページ」(20.0%)などの順となっている。
- ・ 年齢区分別にみると、50 歳以上では、「家族・友人・知人に教えられて」の割合が、40 歳代以下に比べて高い。



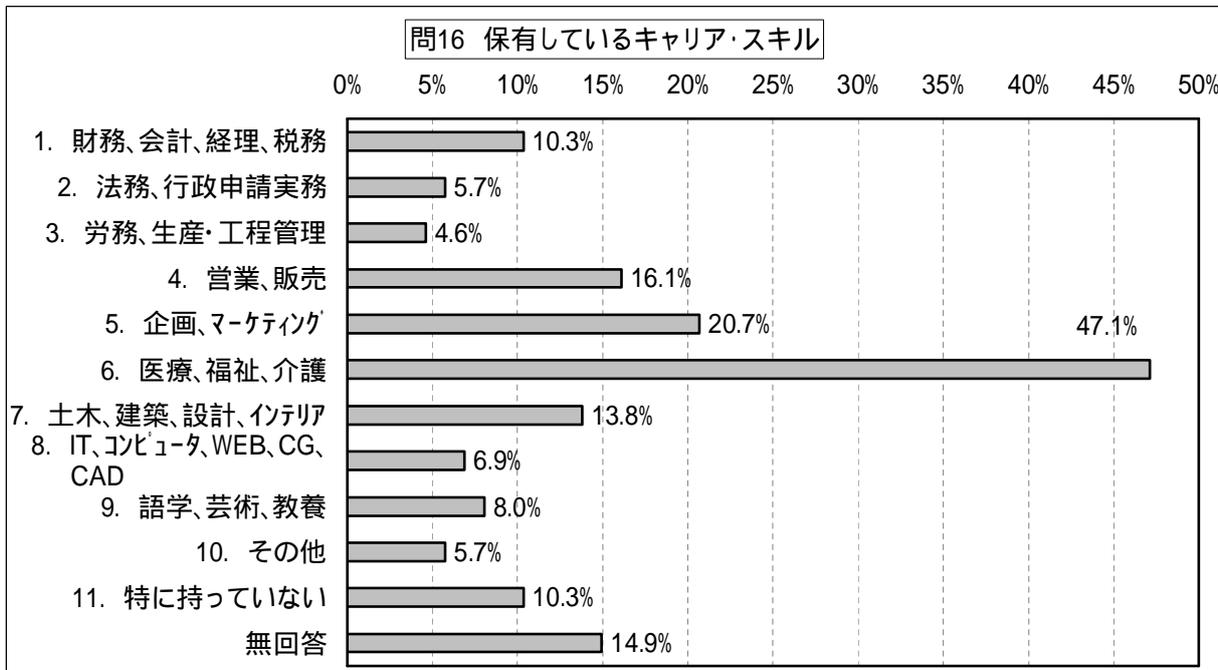
問15 市民活動団体・活動内容の認知方法

	件数	比率
1. 自治体広報誌	18	72.0%
2. 自治体ホームページ	5	20.0%
3. 団体等の広告・宣伝(チラシ・ポスター)	4	16.0%
4. 団体等のホームページ	2	8.0%
5. 家族・友人・知人に教えられて	9	36.0%
6. その他	3	12.0%
無回答	0	0.0%
全体	25	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	0 0.0%	1 4.0%	5 20.0%	4 16.0%	6 24.0%	5 20.0%	2 8.0%	2 8.0%	25 100.0%
1. 自治体広報誌	0 0.0%	1 100.0%	4 80.0%	3 75.0%	5 83.3%	3 60.0%	1 50.0%	1 50.0%	18 72.0%
2. 自治体ホームページ	0 0.0%	1 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 20.0%
3. 団体等の広告・宣伝(チラシ・ポスター)	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 20.0%	1 50.0%	0 0.0%	4 16.0%
4. 団体等のホームページ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%
5. 家族・友人・知人に教えられて	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	3 50.0%	2 40.0%	1 50.0%	1 50.0%	9 36.0%
6. その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	3 12.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 16. 保有しているキャリア(経験)、スキル(知識・技術・技能・資格など)(MA)

- ・ 保有しているキャリア、スキルとして、「医療、福祉、介護」(47.1%)、「企画、マーケティング」(20.7%)、「営業、販売」(16.1%)、「土木、建築、設計、インテリア」(13.8%)などの順となっている。また、10.3%がキャリア、スキルを「特に持っていない」としている。
- ・ それぞれのキャリア、スキルを持つ人のうち、問 10 で「現在、市民活動に参加している」とした人の割合は、「土木、建築、設計、インテリア」が58.3%、「企画、マーケティング」が50.0%、「医療、福祉、介護」が39.0%、「営業、販売」が35.7%となっている。また、キャリア、スキルを「特に持っていない」とする9人のうち3人が、「現在、市民活動に参加している」としている。
- ・ いずれのキャリア、スキルを持つ人であっても、問 11 では概ね8割以上が、「今後、市民活動に参加したい」としている。また、キャリア、スキルを「特に持っていない」とする9人のうち6人が、「今後、市民活動に参加したい」としている。



問16 保有しているキャリア・スキル

	件数	比率
1. 財務、会計、経理、税務	9	10.3%
2. 法務、行政申請実務	5	5.7%
3. 労務、生産・工程管理	4	4.6%
4. 営業、販売	14	16.1%
5. 企画、マーケティング	18	20.7%
6. 医療、福祉、介護	41	47.1%
7. 土木、建築、設計、インテリア	12	13.8%
8. IT、コンピュータ、WEB、CG、CAD	6	6.9%
9. 語学、芸術、教養	7	8.0%
10. その他	5	5.7%
11. 特に持っていない	9	10.3%
無回答	13	14.9%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 財務、会計、経理、税務	0 0.0%	2 11.8%	3 21.4%	0 0.0%	3 16.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
2. 法務、行政申請実務	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	1 8.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%
3. 労務、生産・工程管理	0 0.0%	1 5.9%	1 7.1%	1 8.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.6%
4. 営業、販売	0 0.0%	2 11.8%	4 28.6%	1 8.3%	3 16.7%	2 15.4%	1 25.0%	1 50.0%	14 16.1%
5. 企画、マーケティング	1 14.3%	2 11.8%	5 35.7%	0 0.0%	4 22.2%	4 30.8%	1 25.0%	1 50.0%	18 20.7%
6. 医療、福祉、介護	2 28.6%	6 35.3%	7 50.0%	6 50.0%	12 66.7%	5 38.5%	2 50.0%	1 50.0%	41 47.1%
7. 土木、建築、設計、インテリア	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	2 16.7%	4 22.2%	2 15.4%	0 0.0%	1 50.0%	12 13.8%
8. IT、コンピュータ、WEB、CG、CAD	0 0.0%	1 5.9%	2 14.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	6 6.9%
9. 語学、芸術、教養	0 0.0%	2 11.8%	3 21.4%	1 8.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.0%
10. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 11.1%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%
11. 特に持っていない	4 57.1%	1 5.9%	0 0.0%	1 8.3%	2 11.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
無回答	2 28.6%	5 29.4%	1 7.1%	1 8.3%	1 5.6%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	13 14.9%

問10 市民活動への参加 × 問16 保有しているキャリア・スキル 上段:件数 下段:%

		問10 市民活動への参加			
		合計	1. 参加している	2. 参加していない	不明
問16 保有しているキャリア・スキル	合計	87 100.0	29 33.3	53 60.9	5 5.7
	1. 財務、会計、経理、税務	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-
	2. 法務、行政申請実務	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-
	3. 労務、生産・工程管理	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-
	4. 営業、販売	14 100.0	5 35.7	8 57.1	1 7.1
	5. 企画、マーケティング	18 100.0	9 50.0	8 44.4	1 5.6
	6. 医療、福祉、介護	41 100.0	16 39.0	25 61.0	-
	7. 土木、建築、設計、インテリア	12 100.0	7 58.3	5 41.7	-
	8. IT、コンピュータ、WEB、CG、CAD	6 100.0	6 100.0	-	-
	9. 語学、芸術、教養	7 100.0	2 28.6	5 71.4	-
	10. その他	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-
	11. 特に持っていない	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-
	不明	13 100.0	2 15.4	7 53.8	4 30.8

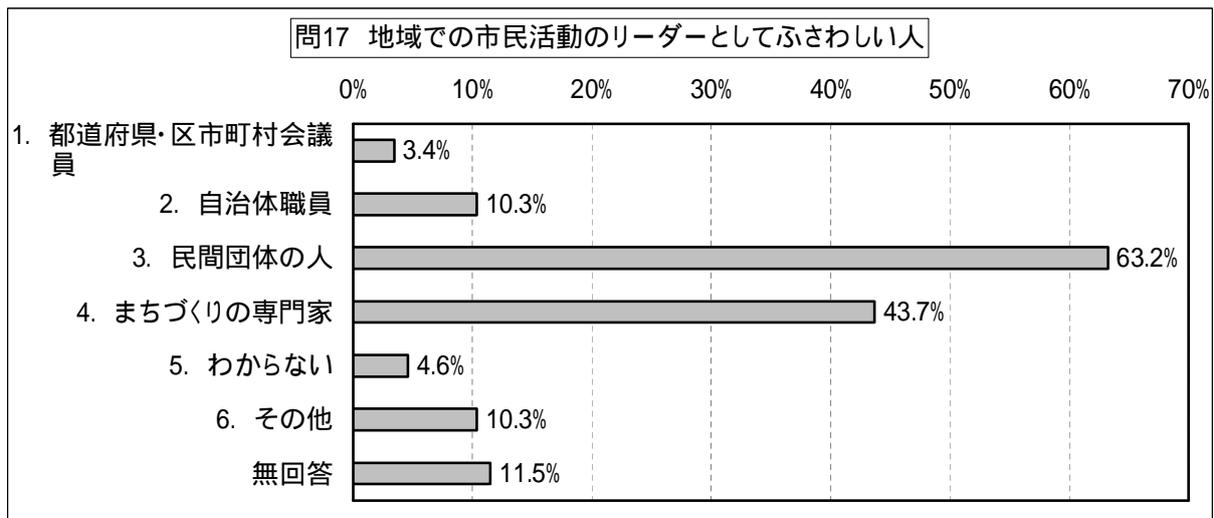
問11 市民活動への今後の参加意向 × 問16 保有しているキャリア・スキル 上段:件数 下段:%

		問11 市民活動への今後の参加意向						
		合計	1. 積極的に参加したい	2. 機会があれば参加したい	3. あまり参加したいと思わない	4. 参加したいとは思わない	5. わからない	不明
問16 保有しているキャリア・スキル	合計	87 100.0	11 12.6	54 62.1	7 8.0	-	6 6.9	9 10.3
	1. 財務、会計、経理、税務	9 100.0	1 11.1	8 88.9	-	-	-	-
	2. 法務、行政申請実務	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-	-	-	-
	3. 労務、生産・工程管理	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-	-
	4. 営業、販売	14 100.0	4 28.6	7 50.0	-	-	2 14.3	1 7.1
	5. 企画、マーケティング	18 100.0	5 27.8	9 50.0	2 11.1	-	-	2 11.1
	6. 医療、福祉、介護	41 100.0	5 12.2	31 75.6	-	-	3 7.3	2 4.9
	7. 土木、建築、設計、インテリア	12 100.0	1 8.3	7 58.3	1 8.3	-	-	3 25.0
	8. IT、コンピュータ、WEB、CG、CAD	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	-	-	-
	9. 語学、芸術、教養	7 100.0	-	4 57.1	2 28.6	-	1 14.3	-
	10. その他	5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0
	11. 特に持っていない	9 100.0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1
	不明	13 100.0	-	6 46.2	3 23.1	-	-	4 30.8

市民活動のリーダーについて

問 17. 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人(MA)

・ 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人として、「自治会、商工会、PTA、社会福祉協議会、地元企業など地域の事情をよく知る民間団体などの人」(63.2%)、「NPO、学識経験者、コンサルタントなどまちづくりの専門家」(43.7%)、「その地域の自治体職員」(10.3%)などの順となっている。



問17 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人

	件数	比率
1. 都道府県・区市町村会議員	3	3.4%
2. 自治体職員	9	10.3%
3. 民間団体の人	55	63.2%
4. まちづくりの専門家	38	43.7%
5. わからない	4	4.6%
6. その他	9	10.3%
無回答	10	11.5%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 都道府県・区市町村 会議員	1 14.3%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%
2. 自治体職員	0 0.0%	1 5.9%	1 7.1%	4 33.3%	2 11.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
3. 民間団体の人	6 85.7%	9 52.9%	6 42.9%	9 75.0%	11 61.1%	10 76.9%	2 50.0%	2 100.0%	55 63.2%
4. まちづくりの専門家	3 42.9%	6 35.3%	5 35.7%	5 41.7%	11 61.1%	6 46.2%	1 25.0%	1 50.0%	38 43.7%
5. わからない	0 0.0%	1 5.9%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.6%
6. その他	0 0.0%	3 17.6%	2 14.3%	0 0.0%	1 5.6%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	9 10.3%
無回答	1 14.3%	3 17.6%	2 14.3%	1 8.3%	1 5.6%	1 7.7%	1 25.0%	0 0.0%	10 11.5%

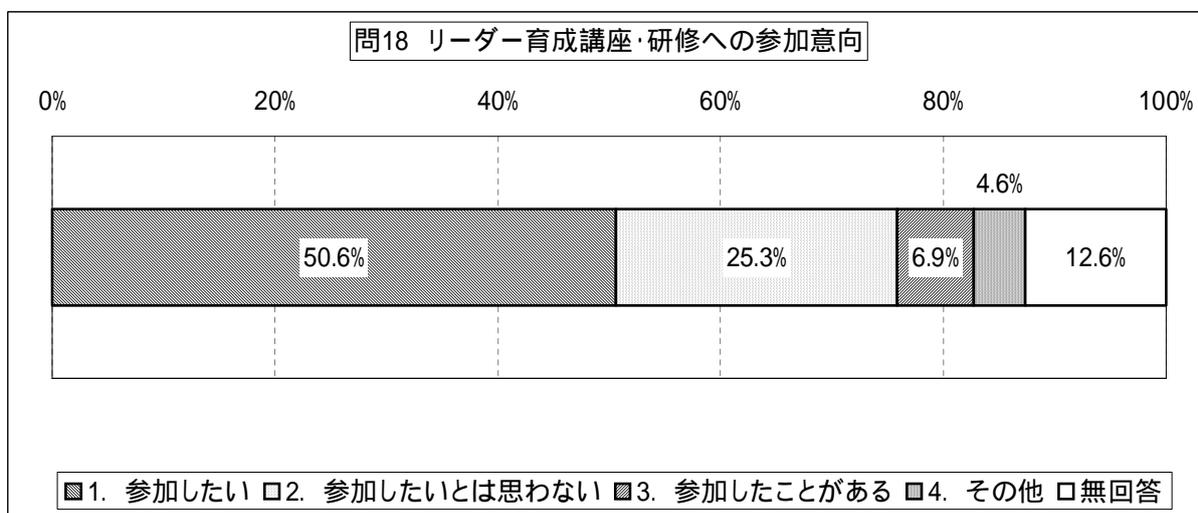
問4 職業 × 問17 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人

上段:件数 下段:%

		問4 職業 (7.パート勤務、8.専業主婦・主夫、9.学生、不明は、該当者なし)								
		合計	1. 会社員	2. 自営業	3. 市区町村職員	4. 都道府県職員	5. 社会福祉法人	6. NPO法人	10. 無職	11. その他
問17 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人	合計	87 100.0	49 100.0	8 100.0	9 100.0	2 100.0	4 100.0	5 100.0	4 100.0	6 100.0
	1. 都道府県・区市町村 会議員	3 3.4	3 6.1	-	-	-	-	-	-	-
	2. 自治体職員	9 10.3	7 14.3	-	1 11.1	-	-	1 20.0	-	-
	3. 民間団体の人	55 63.2	30 61.2	6 75.0	8 88.9	1 50.0	-	2 40.0	4 100.0	4 66.7
	4. まちづくりの専門家	38 43.7	21 42.9	4 50.0	3 33.3	1 50.0	3 75.0	2 40.0	2 50.0	2 33.3
	5. わからない	4 4.6	3 6.1	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	6. その他	9 10.3	2 4.1	2 25.0	3 33.3	-	-	-	-	2 33.3
	不明	10 11.5	7 14.3	-	-	-	1 25.0	2 40.0	-	-

問 18. リーダー育成講座・研修への参加意向 (SA)

- ・「参加したい」(50.6%)、「参加したいとは思わない」(25.3%)、「参加したことがある」(6.9%(6人))の順となっている。
- ・年齢区別にみると、55～59歳では38.9%が「参加したい」、44.4%が「参加したいとは思わない」とし、60～64歳では46.2%が「参加したい」、23.1%が「参加したいとは思わない」としている。また、55～59歳では1人、60～64歳では2人が「参加したことがある」としている。
- ・「参加したい」とする割合は、30歳代(58.8%)、50～54歳(58.3%)、40歳代(57.1%)で高くなっている。
- ・市区町村職員のうち5人が「参加したい」、1人が「参加したことがある」としている。



問18 リーダー育成講座・研修への参加意向

	件数	比率
1. 参加したい	44	50.6%
2. 参加したいとは思わない	22	25.3%
3. 参加したことがある	6	6.9%
4. その他	4	4.6%
無回答	11	12.6%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 参加したい	3 42.9%	10 58.8%	8 57.1%	7 58.3%	7 38.9%	6 46.2%	2 50.0%	1 50.0%	44 50.6%
2. 参加したいとは思わない	3 42.9%	2 11.8%	2 14.3%	4 33.3%	8 44.4%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	22 25.3%
3. 参加したことがある	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	1 8.3%	1 5.6%	2 15.4%	0 0.0%	1 50.0%	6 6.9%
4. その他	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 4.6%
無回答	1 14.3%	4 23.5%	2 14.3%	0 0.0%	1 5.6%	2 15.4%	1 25.0%	0 0.0%	11 12.6%

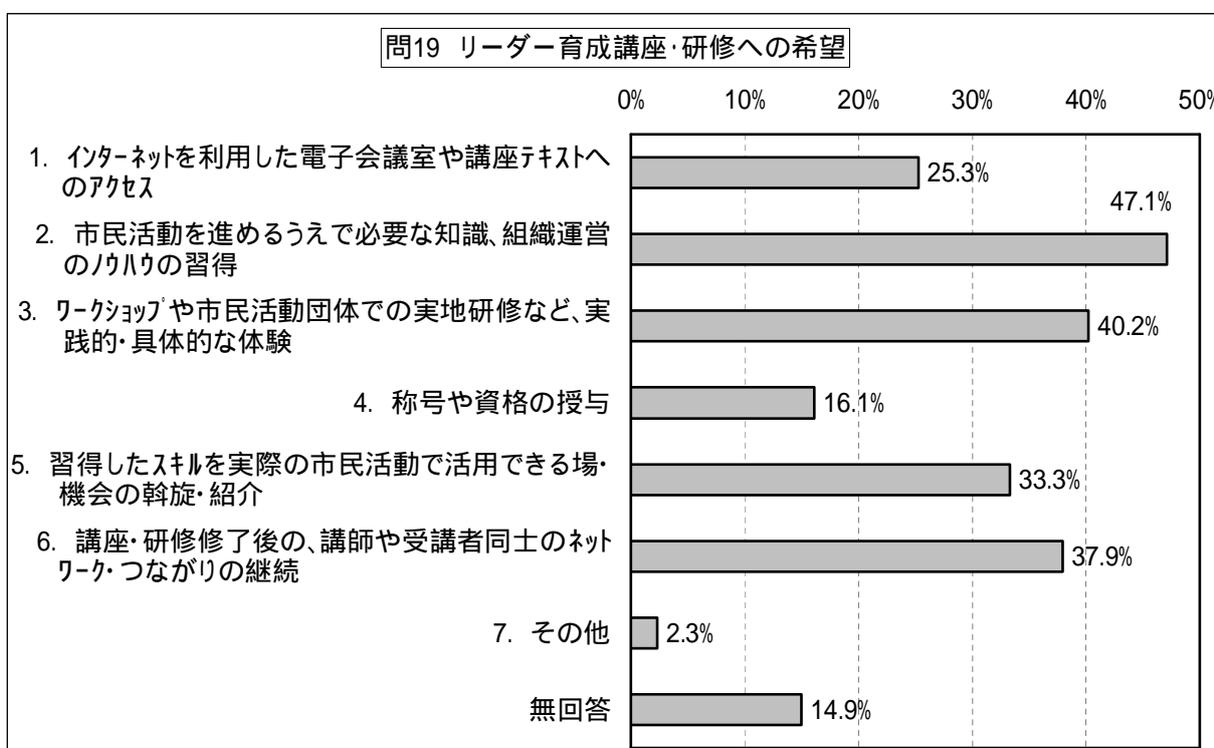
問4 職業 × 問18 リーダー-育成講座・研修への参加意向

上段:件数 下段:%

		問4 職業 (7.パート勤務、8.専業主婦・主夫、9.学生、不明は、該当者なし)								
		合計	1. 会社員	2. 自営業	3. 市区町村職員	4. 都道府県職員	5. 社会福祉法人	6. NPO法人	10. 無職	11. その他
問18 リーダー-育成講座・研修への参加意向	合計	87 100.0	49 100.0	8 100.0	9 100.0	2 100.0	4 100.0	5 100.0	4 100.0	6 100.0
	1. 参加したい	44 50.6	29 59.2	1 12.5	5 55.6	1 50.0	1 25.0	1 20.0	3 75.0	3 50.0
	2. 参加したいとは思わない	22 25.3	11 22.4	5 62.5	2 22.2	1 50.0	1 25.0	-	-	2 33.3
	3. 参加したことがある	6 6.9	1 2.0	2 25.0	1 11.1	-	-	1 20.0	-	1 16.7
	4. その他	4 4.6	1 2.0	-	1 11.1	-	1 25.0	1 20.0	-	-
	不明	11 12.6	7 14.3	-	-	-	1 25.0	2 40.0	1 25.0	-

問 19. リーダー育成講座・研修への希望 (MA)

- ・「市民活動を進めるうえで必要な知識、組織運営のノウハウの習得」(47.1%)、「ワークショップや市民活動団体での実地研修など、実践的・具体的な体験」(40.2%)、「講座・研修修了後の、講師や受講者同士のネットワーク・つながりの継続」(37.9%)、「習得したスキルを実際の市民活動で活用できる場・機会の斡旋・紹介」(33.3%)、「インターネットを利用した電子会議室や講座テキストへのアクセス」(25.3%)、「称号や資格の授与」(16.1%)の順となっている。
- ・年齢区分別にみると、55～59歳では「習得したスキルを実際の市民活動で活用できる場・機会の斡旋・紹介」(55.6%)、60～64歳では「講座・研修修了後の、講師や受講者同士のネットワーク・つながりの継続」(53.8%)の割合が最も高く、全体の傾向とは異なっている。



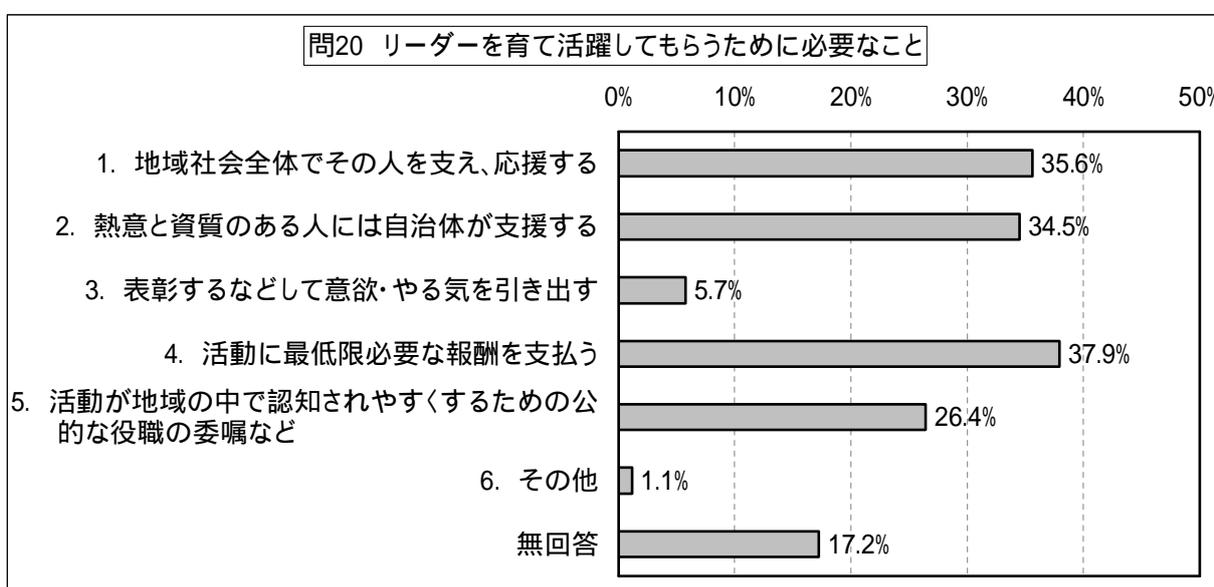
問19 リーダー育成講座・研修への希望

	件数	比率
1. インターネットを利用した電子会議室や講座テキストへのアクセス	22	25.3%
2. 市民活動を進めるうえで必要な知識、組織運営のノウハウの習得	41	47.1%
3. ワorkshopや市民活動団体での実地研修など、実践的・具体的な体験	35	40.2%
4. 称号や資格の授与	14	16.1%
5. 習得したスキルを実際の市民活動で活用できる場・機会の斡旋・紹介	29	33.3%
6. 講座・研修修了後の、講師や受講者同士のネットワーク・つながりの継続	33	37.9%
7. その他	2	2.3%
無回答	13	14.9%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. インターネットを利用した電子会議室や講座テキストへのアクセス	2 28.6%	6 35.3%	2 14.3%	4 33.3%	4 22.2%	2 15.4%	1 25.0%	1 50.0%	22 25.3%
2. 市民活動を進めるうえで必要な知識・組織運営のノウハウの習得	4 57.1%	11 64.7%	8 57.1%	5 41.7%	6 33.3%	4 30.8%	3 75.0%	0 0.0%	41 47.1%
3. ワークショップや市民活動団体での実地研修など、実践的・具体的な体験	2 28.6%	7 41.2%	4 28.6%	5 41.7%	9 50.0%	6 46.2%	2 50.0%	0 0.0%	35 40.2%
4. 称号や資格の授与	1 14.3%	2 11.8%	2 14.3%	3 25.0%	2 11.1%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	14 16.1%
5. 習得したスキルを実際の市民活動で活用できる場・機会の斡旋・紹介	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	5 41.7%	10 55.6%	4 30.8%	0 0.0%	1 50.0%	29 33.3%
6. 講座・研修終了後の、講師や受講者同士のネットワーキングの継続	1 14.3%	6 35.3%	7 50.0%	3 25.0%	7 38.9%	7 53.8%	1 25.0%	1 50.0%	33 37.9%
7. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%
無回答	1 14.3%	3 17.6%	3 21.4%	0 0.0%	2 11.1%	2 15.4%	1 25.0%	1 50.0%	13 14.9%

問 20. リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと (MA)

- ・ 「活動に最低限必要な報酬を支払う」(37.9%)、「地域社会全体でその人を支え、応援する」(35.6%)、「熱意と資質のある人には自治体が支援する」(34.5%)などの順となっている。
- ・ 年齢区分別にみると、60～64 歳では「活動が地域の中で認知されやすくするための公的な役職の委嘱など」(53.8%)の割合が最も高く、全体の傾向とは異なっている。
- ・ 問 10 で「現在、市民活動に参加している」とした人についてみると、「活動に最低限必要な報酬を支払う」(48.3%)、「熱意と資質のある人には自治体が支援する」(37.9%)などの順となっている。  
全体の結果と比べて、「活動に最低限必要な報酬を支払う」の割合が高い。
- ・ 問 11 で「今後、市民活動に参加したい」とした人についても、概ね全体と同様の傾向となっている。



問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと

	件数	比率
1. 地域社会全体でその人を支え、応援する	31	35.6%
2. 熱意と資質のある人には自治体が支援する	30	34.5%
3. 表彰するなどして意欲・やる気を引き出す	5	5.7%
4. 活動に最低限必要な報酬を支払う	33	37.9%
5. 活動が地域の中で認知されやすくするための公的な役職の委嘱など	23	26.4%
6. その他	1	1.1%
無回答	15	17.2%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 地域社会全体でその人を支え、応援する	3 42.9%	8 47.1%	4 28.6%	4 33.3%	8 44.4%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	31 35.6%
2. 熱意と資質のある人には自治体が支援する	2 28.6%	5 29.4%	5 35.7%	8 66.7%	6 33.3%	1 7.7%	3 75.0%	0 0.0%	30 34.5%
3. 表彰するなどして意欲・やる気を引き出す	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%
4. 活動に最低限必要な報酬を支払う	2 28.6%	4 23.5%	6 42.9%	7 58.3%	8 44.4%	5 38.5%	1 25.0%	0 0.0%	33 37.9%
5. 活動が地域の中で認知されやすくするための公的な役職の委嘱など	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	0 0.0%	5 27.8%	7 53.8%	2 50.0%	0 0.0%	23 26.4%
6. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
無回答	1 14.3%	4 23.5%	3 21.4%	1 8.3%	1 5.6%	2 15.4%	1 25.0%	2 100.0%	15 17.2%

問10 市民活動への参加 × 問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと  
上段:件数 下段:%

		問10 市民活動への参加			
		合計	1. 参加している	2. 参加していない	不明
問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと	合計	87	29	53	5
		100.0	100.0	100.0	100.0
	1. 地域社会全体でその人を支え、応援する	31	9	22	-
		35.6	31.0	41.5	-
	2. 熱意と資質のある人には自治体が支援する	30	11	19	-
		34.5	37.9	35.8	-
	3. 表彰するなどして意欲・やる気を引き出す	5	1	4	-
		5.7	3.4	7.5	-
4. 活動に最低限必要な報酬を支払う	33	14	19	-	
	37.9	48.3	35.8	-	
5. 活動が地域の中で認知されやすくするための公的な役職の委嘱など	23	9	14	-	
	26.4	31.0	26.4	-	
6. その他	1	1	-	-	
	1.1	3.4	-	-	
不明	15	5	5	5	
	17.2	17.2	9.4	100.0	

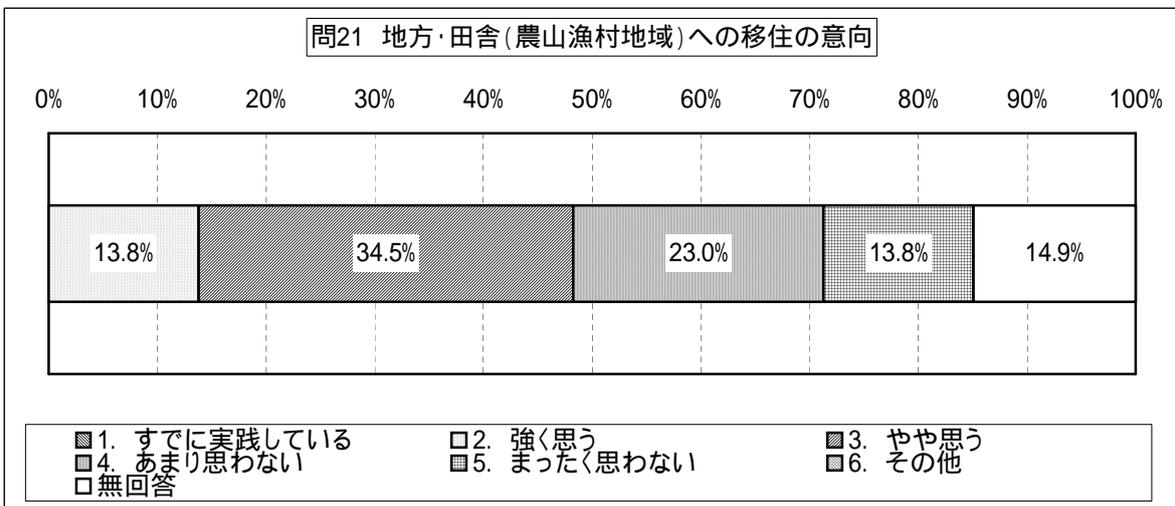
問11 市民活動への今後の参加意向 × 問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと  
上段:件数 下段:%

		問11 市民活動への今後の参加意向						
		合計	1. 積極的に参加したい	2. 機会があれば参加したい	3. あまり参加しと思わない	4. 参加したいとは思わない	5. わからない	不明
問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと	合計	87	11	54	7	-	6	9
		100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0
	1. 地域社会全体でその人を支え、応援する	31	3	23	3	-	1	1
		35.6	27.3	42.6	42.9	-	16.7	11.1
	2. 熱意と資質のある人には自治体が支援する	30	5	20	1	-	3	1
		34.5	45.5	37.0	14.3	-	50.0	11.1
	3. 表彰するなどして意欲・やる気を引き出す	5	-	4	-	-	1	-
		5.7	-	7.4	-	-	16.7	-
4. 活動に最低限必要な報酬を支払う	33	3	23	1	-	3	3	
	37.9	27.3	42.6	14.3	-	50.0	33.3	
5. 活動が地域の中で認知されやすくするための公的な役職の委嘱など	23	5	14	2	-	1	1	
	26.4	45.5	25.9	28.6	-	16.7	11.1	
6. その他	1	-	1	-	-	-	-	
	1.1	-	1.9	-	-	-	-	
不明	15	2	4	2	-	1	6	
	17.2	18.2	7.4	28.6	-	16.7	66.7	

地方・田舎(農山漁村地域)への移住・2地域居住について

問21. 地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向(SA)

- ・「リタイア後に、地方・田舎(農山漁村地域)に移り住みたいと思うか」との問いに対し、「強く思う」(13.8%)、「やや思う」(34.5%)を合わせて、48.3%が「移り住みたい」としている。一方、「あまり思わない」(23.0%)、「まったく思わない」(13.8%)を合わせて、36.8%が「移り住みたいとは思わない」としている。
- ・年齢区分別にみると、55～59歳では38.9%、60～64歳では46.2%が「移り住みたい」としている。一方、55～59歳では55.6%、60～64歳では46.2%が「移り住みたいとは思わない」としている。
- ・「移り住みたい」とする割合が最も高いのは50～54歳で、75.0%となっている。



問21 地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向

	件数	比率
1. すでに実践している	0	0.0%
2. 強く思う	12	13.8%
3. やや思う	30	34.5%
4. あまり思わない	20	23.0%
5. まったく思わない	12	13.8%
6. その他	0	0.0%
無回答	13	14.9%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. すでに実践している	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2. 強く思う	1 14.3%	1 5.9%	1 7.1%	4 33.3%	2 11.1%	2 15.4%	0 0.0%	1 50.0%	12 13.8%
3. やや思う	2 28.6%	7 41.2%	5 35.7%	5 41.7%	5 27.8%	4 30.8%	2 50.0%	0 0.0%	30 34.5%
4. あまり思わない	3 42.9%	3 17.6%	3 21.4%	2 16.7%	5 27.8%	3 23.1%	0 0.0%	1 50.0%	20 23.0%
5. まったく思わない	0 0.0%	2 11.8%	1 7.1%	1 8.3%	5 27.8%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	12 13.8%
6. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	0 0.0%	1 5.6%	1 7.7%	2 50.0%	0 0.0%	13 14.9%

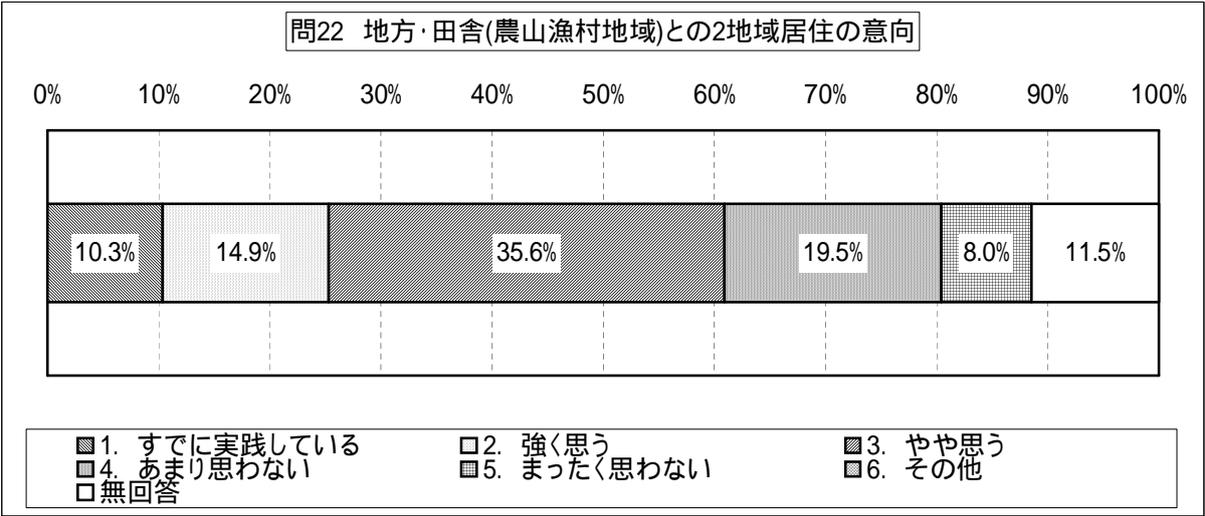
問2 性別 × 問21 地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向

上段:件数 下段:%

		問2 性別			
		合計	1. 男	2. 女	不明
問21 地方	合計	87 100.0	61 100.0	26 100.0	- -
	1. すでに実践している	- -	- -	- -	- -
	2. 強く思う	12 13.8	11 18.0	1 3.8	- -
	3. やや思う	30 34.5	17 27.9	13 50.0	- -
	4. あまり思わない	20 23.0	15 24.6	5 19.2	- -
	5. まったく思わない	12 13.8	11 18.0	1 3.8	- -
	6. その他	- -	- -	- -	- -
	不明	13 14.9	7 11.5	6 23.1	- -

問 22 . 地方・田舎(農山漁村地域)との 2 地域居住の意向 (SA)

- ・「いま住んでいる地域と地方・田舎(農山漁村地域)を往来して2つの地域での生活を楽しみたい(2地域居住をしてみたい)と思うか」との問いに対し、「強く思う」(14.9%)、「やや思う」(35.6%)を合わせて、50.5%が「2地域居住をしてみたい」としている。一方、「あまり思わない」(19.5%)、「まったく思わない」(8.0%)を合わせて、27.5%が「2地域居住をしてみたいとは思わない」としている。また、10.3%(9人)が「すでに実践している」としている。
- ・年齢区分別にみると、55～59歳では44.5%、60～64歳では46.2%が「2地域居住をしてみたい」としている。一方、55～59歳では50.0%、60～64歳では30.8%が「2地域居住をしてみたいとは思わない」としている。
- ・「2地域居住をしてみたい」とする割合が最も高いのは40歳代で、64.3%となっている。
- ・男女別にみると、男性では44.2%、女性では65.4%が「2地域居住をしてみたい」としている。



問22 地方・田舎(農山漁村地域)との2地域居住の意向

	件数	比率
1. すでに実践している	9	10.3%
2. 強く思う	13	14.9%
3. やや思う	31	35.6%
4. あまり思わない	17	19.5%
5. まったく思わない	7	8.0%
6. その他	0	0.0%
無回答	10	11.5%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. すでに実践している	1 14.3%	1 5.9%	2 14.3%	3 25.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
2. 強く思う	2 28.6%	1 5.9%	2 14.3%	1 8.3%	3 16.7%	3 23.1%	0 0.0%	1 50.0%	13 14.9%
3. やや思う	1 14.3%	8 47.1%	7 50.0%	5 41.7%	5 27.8%	3 23.1%	2 50.0%	0 0.0%	31 35.6%
4. あまり思わない	2 28.6%	2 11.8%	1 7.1%	2 16.7%	6 33.3%	3 23.1%	0 0.0%	1 50.0%	17 19.5%
5. まったく思わない	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	1 8.3%	3 16.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.0%
6. その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 14.3%	3 17.6%	2 14.3%	0 0.0%	1 5.6%	1 7.7%	2 50.0%	0 0.0%	10 11.5%

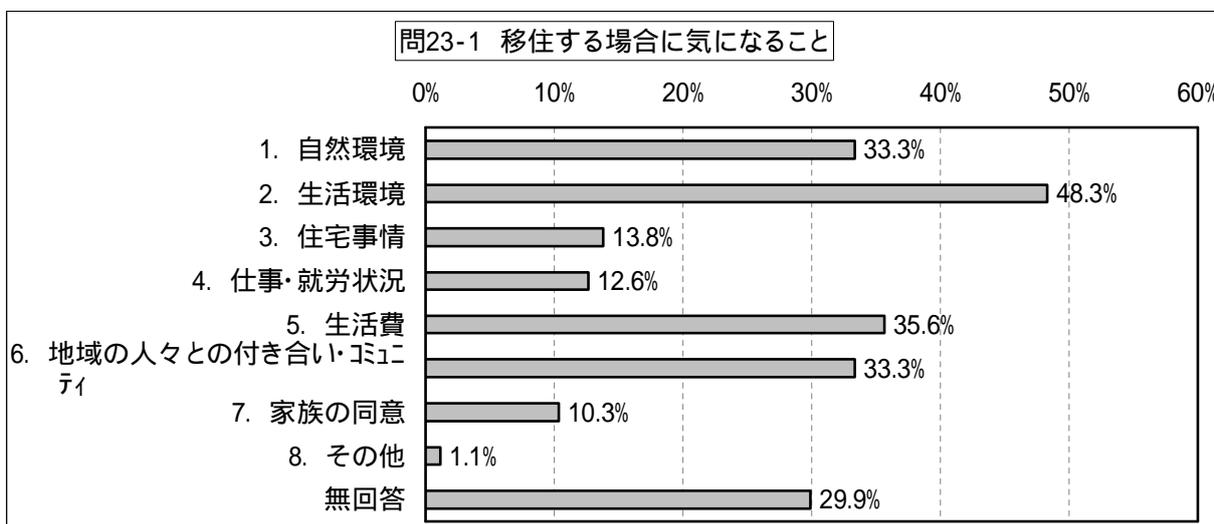
問2 性別 問2 性別 × 問22 地方・田舎との2地域居住の意向

上段:件数 下段:%

		問2 性別			
		合計	1. 男	2. 女	不明
問22 地方・田舎との2地域居住の意向	合計	87 100.0	61 100.0	26 100.0	-
	1. すでに実践している	9 10.3	7 11.5	2 7.7	-
	2. 強く思う	13 14.9	11 18.0	2 7.7	-
	3. やや思う	31 35.6	16 26.2	15 57.7	-
	4. あまり思わない	17 19.5	17 27.9	-	-
	5. まったく思わない	7 8	6 9.8	1 3.8	-
	6. その他	-	-	-	-
	不明	10 11.5	4 6.6	6 23.1	-

問 23-1 . 移住する場合に気になること(MA)

- ・「移住先の生活環境(買い物・病院・学校など)」(48.3%)、「移住後に必要な生活費」(35.6%)、「移住先の自然環境」、「移住先の地域の人々との付き合い・コミュニティ」(各 33.3%)などの順となっている。また、「家族の同意」を挙げたのは 10.3%となっている。
- ・年齢区別にみると、55～59 歳では概ね全体と同じ傾向であるが、60～64 歳では「自然環境」(46.2%)の割合が最も高い。
- ・男女別にみると、男性(45.9%)、女性(53.8%)とも「生活環境」の割合が最も高く、次いで男性では「自然環境」、「生活費」(各 36.1%)、女性では「付き合い・コミュニティ」(42.3%)となっている。
- ・問 21 で「移り住みたい」(「強く思う」、「やや思う」とした人についてみると、「生活環境」(57.1%)、「生活費」(47.6%)、「自然環境」(42.9%)などの順となっている。



問23-1 移住する場合に気になること

	件数	比率
1. 自然環境	29	33.3%
2. 生活環境	42	48.3%
3. 住宅事情	12	13.8%
4. 仕事・就労状況	11	12.6%
5. 生活費	31	35.6%
6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29	33.3%
7. 家族の同意	9	10.3%
8. その他	1	1.1%
無回答	26	29.9%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 自然環境	2 28.6%	7 41.2%	4 28.6%	5 41.7%	4 22.2%	6 46.2%	0 0.0%	1 50.0%	29 33.3%
2. 生活環境	6 85.7%	8 47.1%	6 42.9%	7 58.3%	8 44.4%	5 38.5%	1 25.0%	1 50.0%	42 48.3%
3. 住宅事情	1 14.3%	1 5.9%	1 7.1%	1 8.3%	3 16.7%	2 15.4%	1 25.0%	2 100.0%	12 13.8%
4. 仕事・就労状況	1 14.3%	4 23.5%	1 7.1%	4 33.3%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 12.6%
5. 生活費	3 42.9%	9 52.9%	5 35.7%	3 25.0%	8 44.4%	1 7.7%	1 25.0%	1 50.0%	31 35.6%
6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	4 57.1%	4 23.5%	7 50.0%	3 25.0%	6 33.3%	4 30.8%	0 0.0%	1 50.0%	29 33.3%
7. 家族の同意	0 0.0%	1 5.9%	1 7.1%	1 8.3%	4 22.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
8. その他	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
無回答	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	3 25.0%	6 33.3%	5 38.5%	3 75.0%	0 0.0%	26 29.9%

問2 性別 × 問23-1 移住する場合に気になること

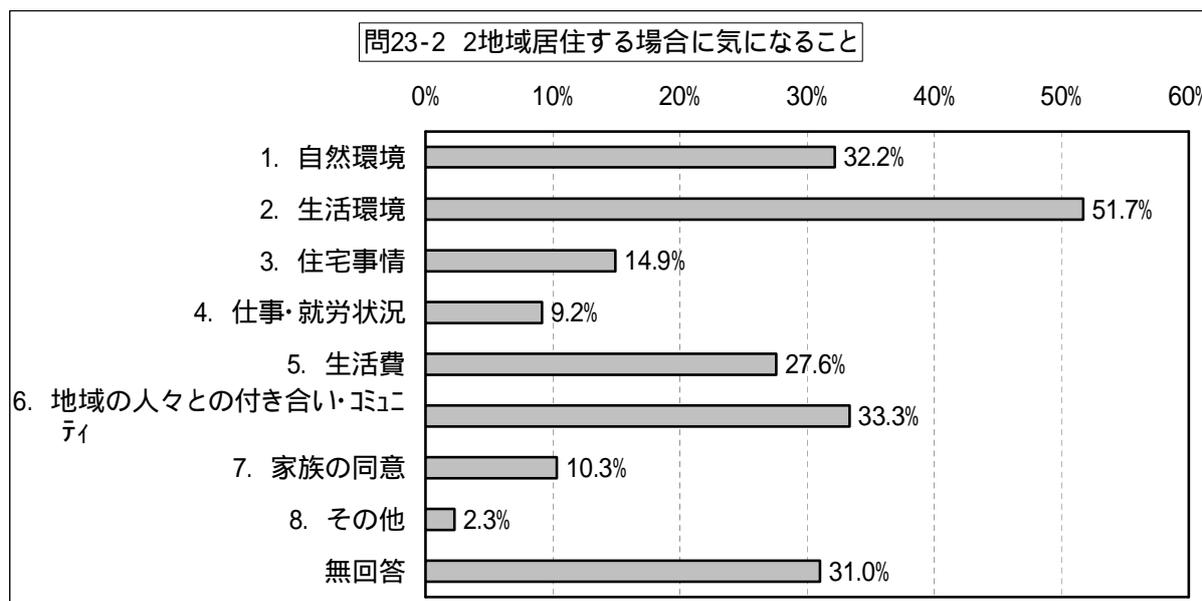
		問2 性別			
		合計	1. 男	2. 女	不明
問23-1 移住する 場合に気 になるこ と	合計	87 100.0	61 100.0	26 100.0	- -
	1. 自然環境	29 33.3	22 36.1	7 26.9	- -
	2. 生活環境	42 48.3	28 45.9	14 53.8	- -
	3. 住宅事情	12 13.8	9 14.8	3 11.5	- -
	4. 仕事・就労状況	11 12.6	8 13.1	3 11.5	- -
	5. 生活費	31 35.6	22 36.1	9 34.6	- -
	6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29 33.3	18 29.5	11 42.3	- -
	7. 家族の同意	9 10.3	8 13.1	1 3.8	- -
	8. その他	1 1.1	1 1.6	- -	- -
	不明	26 29.9	18 29.5	8 30.8	- -

問21 地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向 × 問23-1 移住する場合に気になること

		問21 地方・田舎(農山漁村地域)への移住の意向								
		合計	1. すでに実践している	2. 強く思う	3. やや思う	2.3.小計	4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. その他	不明
問23-1 移住する 場合に気 になるこ と	合計	87 100.0	- -	12 100.0	30 100.0	42 100.0	20 100.0	12 100.0	- -	13 100.0
	1. 自然環境	29 33.3	- -	7 58.3	11 36.7	18 42.9	6 30.0	4 33.3	- -	1 7.7
	2. 生活環境	42 48.3	- -	7 58.3	17 56.7	24 57.1	10 50	5 41.7	- -	3 23.1
	3. 住宅事情	12 13.8	- -	1 8.3	5 16.7	6 14.3	3 15.0	3 25.0	- -	- -
	4. 仕事・就労状況	11 12.6	- -	2 16.7	5 16.7	7 16.7	2 10.0	1 8.3	- -	1 7.7
	5. 生活費	31 35.6	- -	3 25.0	17 56.7	20 47.6	9 45.0	- -	- -	2 15.4
	6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29 33.3	- -	4 33.3	13 43.3	17 40.5	8 40.0	2 16.7	- -	2 15.4
	7. 家族の同意	9 10.3	- -	3 25.0	1 3.3	4 9.5	5 25.0	- -	- -	- -
	8. その他	1 1.1	- -	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -	- -
	不明	26 29.9	- -	2 16.7	5 16.7	7 16.7	4 20.0	5 41.7	- -	10 76.9

問 23-2. 2 地域居住する場合に気になること (MA)

- ・「居住先の生活環境(買い物・病院など)」(51.7%)、「居住先の地域の人々との付き合い・コミュニティ」(33.3%)、「居住先の自然環境」(32.2%)などの順となっている。また、「家族の同意」を挙げたのは 10.3%となっている。
- ・年齢区分別にみると、55～59 歳では概ね全体と同じ傾向であるが、60～64 歳では「自然環境」(38.5%)の割合が最も高い。
- ・男女別にみると、男性(52.5%)、女性(50.0%)とも「生活環境」の割合が最も高く、次いで男性では「付き合い・コミュニティ」(36.1%)、「自然環境」(34.4%)、女性では「自然環境」、「生活費」、「付き合い・コミュニティ」(各 26.9%)となっている。
- ・問 22 で「2 地域居住をしてみたい」(「強く思う」、「やや思う」とした人についてみると、「生活環境」(61.4%)、「自然環境」(40.9%)、「付き合い・コミュニティ」(38.6%)などの順となっている。
- ・問 22 で「すでに 2 地域居住を実践している」とした 9 人についてみると、「2 地域居住を決める際に気になった点」として、「生活環境」(66.7%)、「自然環境」(55.6%)、「付き合い・コミュニティ」(33.3%)などを挙げている。「仕事・就労状況」、「生活費」、「家族の同意」を挙げたのは、各 1 人となっている。



問23-2 2地域居住する場合に気になること

	件数	比率
1. 自然環境	28	32.2%
2. 生活環境	45	51.7%
3. 住宅事情	13	14.9%
4. 仕事・就労状況	8	9.2%
5. 生活費	24	27.6%
6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29	33.3%
7. 家族の同意	9	10.3%
8. その他	2	2.3%
無回答	27	31.0%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. 自然環境	2 28.6%	4 23.5%	4 28.6%	7 58.3%	3 16.7%	5 38.5%	2 50.0%	1 50.0%	28 32.2%
2. 生活環境	5 71.4%	8 47.1%	8 57.1%	8 66.7%	8 44.4%	4 30.8%	2 50.0%	2 100.0%	45 51.7%
3. 住宅事情	0 0.0%	4 23.5%	2 14.3%	1 8.3%	3 16.7%	1 7.7%	1 25.0%	1 50.0%	13 14.9%
4. 仕事・就労状況	1 14.3%	2 11.8%	0 0.0%	2 16.7%	2 11.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	8 9.2%
5. 生活費	1 14.3%	6 35.3%	6 42.9%	3 25.0%	5 27.8%	2 15.4%	0 0.0%	1 50.0%	24 27.6%
6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	3 42.9%	3 17.6%	6 42.9%	4 33.3%	7 38.9%	4 30.8%	1 25.0%	1 50.0%	29 33.3%
7. 家族の同意	0 0.0%	1 5.9%	1 7.1%	1 8.3%	4 22.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.3%
8. その他	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%
無回答	2 28.6%	6 35.3%	3 21.4%	2 16.7%	6 33.3%	6 46.2%	2 50.0%	0 0.0%	27 31.0%

問2 性別 × 問23-2 2地域居住する場合に気になること

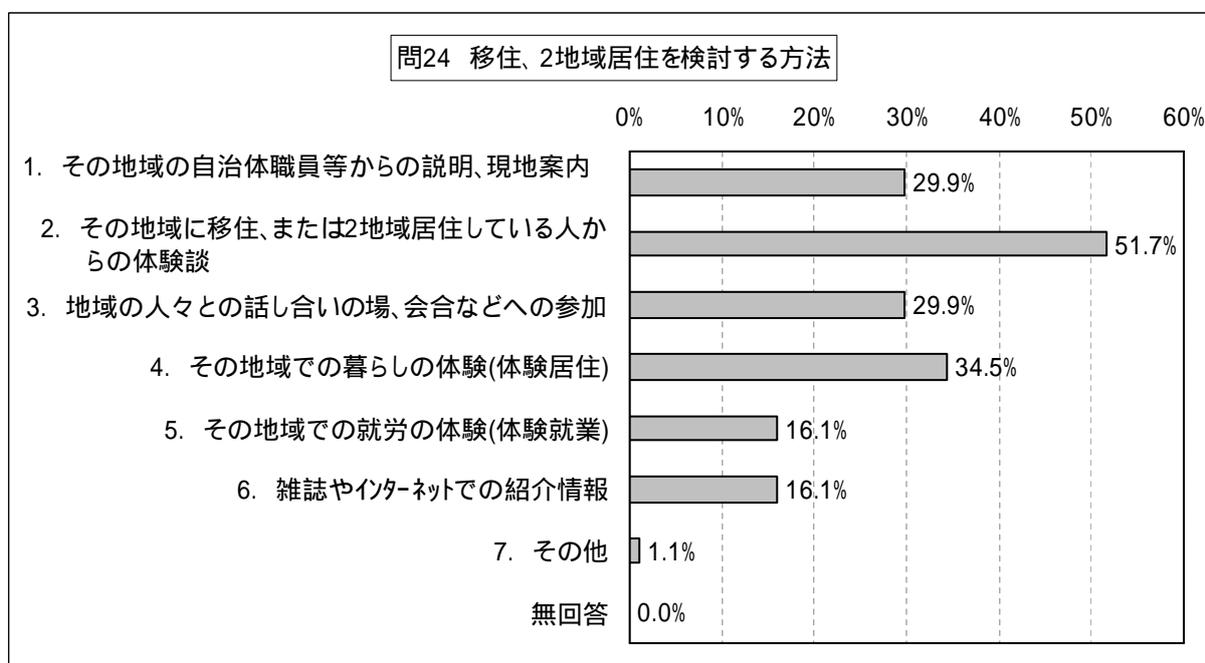
		問2 性別			
		合計	1. 男	2. 女	不明
問23-2 2地域居住する場合に気になること	合計	87 100.0	61 100.0	26 100.0	- -
	1. 自然環境	28 32.2	21 34.4	7 26.9	- -
	2. 生活環境	45 51.7	32 52.5	13 50.0	- -
	3. 住宅事情	13 14.9	10 16.4	3 11.5	- -
	4. 仕事・就労状況	8 9.2	5 8.2	3 11.5	- -
	5. 生活費	24 27.6	17 27.9	7 26.9	- -
	6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29 33.3	22 36.1	7 26.9	- -
	7. 家族の同意	9 10.3	8 13.1	1 3.8	- -
	8. その他	2 2.3	1 1.6	1 3.8	- -
	不明	27 31.0	18 29.5	9 34.6	- -

問22 地方・田舎との2地域居住の意向 × 問23-2 2地域居住する場合に気になること

		問22 地方・田舎との2地域居住の意向								
		合計	1. すでに実践している	2. 強く思う	3. やや思う	2,3.小計	4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. その他	不明
問23-2 2地域居住する場合に気になること	合計	87 100.0	9 100.0	13 100.0	31 100.0	44 100.0	17 100.0	7 100.0	-	10 100.0
	1. 自然環境	28 32.2	5 55.6	6 46.2	12 38.7	18 40.9	4 23.5	1 14.3	-	-
	2. 生活環境	45 51.7	6 66.7	9 69.2	18 58.1	27 61.4	9 52.9	3 42.9	-	-
	3. 住宅事情	13 14.9	-	1 7.7	8 25.8	9 20.5	2 11.8	2 28.6	-	-
	4. 仕事・就労状況	8 9.2	1 11.1	3 23.1	4 12.9	7 15.9	-	-	-	-
	5. 生活費	24 27.6	1 11.1	4 30.8	10 32.3	14 31.8	7 41.2	2 28.6	-	-
	6. 地域の人々との付き合い・コミュニティ	29 33.3	3 33.3	4 30.8	13 41.9	17 38.6	7 41.2	2 28.6	-	-
	7. 家族の同意	9 10.3	1 11.1	1 7.7	2 6.5	3 6.8	4 23.5	1 14.3	-	-
	8. その他	2 2.3	-	-	1 3.2	1 2.3	1 5.9	-	-	-
	不明	27 31.0	2 22.2	3 23.1	5 16.1	8 18.2	4 23.5	3 42.9	-	10 100.0

問 24 . 移住、2 地域居住を検討する方法 (MA)

- ・ 「その地域に移住、または 2 地域居住している人からの体験談」(51.7%)、「その地域での暮らしの体験(体験居住)」(34.5%)、「その地域の自治体職員等からの説明、現地案内」、「地域の人々との話し合いの場、会合などへの参加」(各 29.9%)などの順となっている。
- ・ 年齢区分別にみると、55～59 歳、60～64 歳では概ね全体と同じ傾向であるが、50～54 歳では「体験居住」(58.3%)、30 歳代では「雑誌やインターネットでの紹介情報」(41.2%)の割合が、他の年代に比べて高い。
- ・ 問 22 で「すでに2地域居住を実践している」とした 9 人についてみると、「検討した方法」として、「体験談」(5 人)、「体験居住」(4 人)などとなっている。



問24 移住、2地域居住を検討する方法

	件数	比率
1. その地域の自治体職員等からの説明、現地案内	26	29.9%
2. その地域に移住、または2地域居住している人からの体験談	45	51.7%
3. 地域の人々との話し合いの場、会合などへの参加	26	29.9%
4. その地域での暮らしの体験(体験居住)	30	34.5%
5. その地域での就労の体験(体験就業)	14	16.1%
6. 雑誌やインターネットでの紹介情報	14	16.1%
7. その他	1	1.1%
無回答	0	0.0%
全体	87	100.0%

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	全体
全体	7 8.0%	17 19.5%	14 16.1%	12 13.8%	18 20.7%	13 14.9%	4 4.6%	2 2.3%	87 100.0%
1. その地域の自治体職員等からの説明、現地案内	2 28.6%	2 11.8%	5 35.7%	4 33.3%	5 27.8%	5 38.5%	2 50.0%	1 50.0%	26 29.9%
2. その地域に移住、または2地域居住している人からの体験談	2 28.6%	9 52.9%	8 57.1%	9 75.0%	8 44.4%	6 46.2%	2 50.0%	1 50.0%	45 51.7%
3. 地域の人々との話し合いの場、会合などへの参加	1 14.3%	4 23.5%	4 28.6%	4 33.3%	7 38.9%	4 30.8%	1 25.0%	1 50.0%	26 29.9%
4. その地域での暮らしの体験(体験居住)	4 57.1%	3 17.6%	4 28.6%	7 58.3%	6 33.3%	5 38.5%	1 25.0%	0 0.0%	30 34.5%
5. その地域での就労の体験(体験就業)	1 14.3%	4 23.5%	1 7.1%	4 33.3%	2 11.1%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	14 16.1%
6. 雑誌やインターネットでの紹介情報	0 0.0%	7 41.2%	3 21.4%	2 16.7%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 16.1%
7. その他	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
無回答	1 14.3%	4 23.5%	2 14.3%	0 0.0%	5 27.8%	4 30.8%	2 50.0%	1 50.0%	19 21.8%

問22 地方・田舎との2地域居住の意向 × 問24 移住、2地域居住を検討する方法 上段:件数 下段:%

		問22 地方・田舎との2地域居住の意向							
		合計	1. すでに実践している	2. 強く思う	3. やや思う	4. あまり思わない	5. まったく思わない	6. その他	不明
問24 移住、2地域居住を検討する方法	合計	87 100.0	9 100.0	13 100.0	31 100.0	17 100.0	7 100.0	- -	10 100.0
	1. その地域の自治体職員等からの説明、現地案内	26 29.9	- -	5 38.5	13 41.9	6 35.3	2 28.6	- -	- -
	2. その地域に移住、または2地域居住している人からの体験談	45 51.7	5 55.6	8 61.5	22 71.0	8 47.1	2 28.6	- -	- -
	3. 地域の人々との話し合いの場、会合などへの参加	26 29.9	3 33.3	4 30.8	9 29.0	6 35.3	4 57.1	- -	- -
	4. その地域での暮らしの体験(体験居住)	30 34.5	4 44.4	7 53.8	11 35.5	7 41.2	1 14.3	- -	- -
	5. その地域での就労の体験(体験就業)	14 16.1	2 22.2	3 23.1	6 19.4	2 11.8	1 14.3	- -	- -
	6. 雑誌やインターネットでの紹介情報	14 16.1	1 11.1	3 23.1	7 22.6	2 11.8	1 14.3	- -	- -
	7. その他	1 1.1	- -	- -	1 3.2	- -	- -	- -	- -
	不明	19 21.8	1 11.1	1 7.7	1 3.2	3 17.6	3 42.9	- -	10 100.0

## 記述回答一覧

問10-1 活動分野	
NO	8. その他
1	マンション管理会社
2	地域の健康づくり
3	ロータリー活動

問10-2 参加していない理由	
NO	6. その他
1	4月以降参画予定
2	65才になったら地域自治会の役員をすと決めている
3	まだ若輩であるから

問12 市民活動への今後の参加形態	
NO	5. その他
1	NPO法人をもっている
2	たまたまのきっかけからある地域活動に参加し、そのつながりでどんどんネットワークができてきた。
3	参加しているNPOからテーマを見つける

問13 今後、ともに活動したい年代	
NO	9. その他
1	同業種
2	前後、10才程度の方達

問15 市民活動団体・活動内容の認知方法	
NO	6. その他
1	地域のNPOネットワーク支援センター
2	ボランティアセンターの情報

問16 保有しているキャリア・スキル	
NO	10. その他
1	専門職の育成運営
2	マンション管理関係
3	スポーツ指導

問17 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人	
NO	6. その他
1	住民・行政・団体・NPOなどの連携
2	医療、福祉系一般法人
3	NPO、ボランティアグループの人
4	決まりきった専門家や町の顔役ではなく、熱意と意欲のある新たな人材
5	市民
6	やる気のある人
7	公民問わず、自らの活動に責任を持てる方
8	専門性のある市民でリーダーとして活動を通じ育成された人
9	4番に(世話役として)と記入あり。

問18 リーダー育成講座・研修への参加意向	
NO	4.その他
1	内容による
2	内容による
3	インターネットでやってほしい

問19 リーダー育成講座・研修への希望	
NO	7.その他
1	場所の提供と補助金のもらい方を教える
2	事例検討(ケーススタディ)

問20 リーダーを育て活躍してもらうために必要なこと	
NO	6.その他
1	役職ではなく、業務としての役割を人でなくグループに与える。

問23-1 移住する場合に気になること	
NO	8.その他
1	移住したくないので気にならない

問23-2 2地域居住する場合に気になること	
NO	8.その他
1	福祉サービス
2	ICT環境

問24 移住、2地域居住を検討する方法	
NO	7.その他
1	グルメ

問25 意見・感想	
NO	
1	重要性を改めて感じました。
2	若者を支える事は重要と思います。でも大変な事です。
3	自分おこし、町おこしを目指し安心した町を！！
5	彼らの数の多さに着目するのではなく、多様性に着目し、様々なあり方があるのを認めるべき。
6	地方の団塊世代は、経済的に容易ではない。何らかの報酬を得ながら地域づくりの場が必要。(議会傍聴も重要 議員になること この意見に賛同)
7	少子化対策として保育園や小学生を面倒見てくれるボランティア活動をしてほしいと思います。(地域密着・活性化にもつながるのでは?)
8	行政もなんとか市民協働のまちづくりを考えて枠組づくりをしていますが、現実には有効に働いていないように思う。言うは易く行うは難しである。行政と地域との間のコーディネート役に良い人材が必要である。
9	参加“しなければならぬ”というのは、かわいそう。地域デビューしなくてもいい選択肢を用意してあげたいと思いました。
10	子供、父母、祖父母との子世代コミュニケーションの場づくりを重視すべきと思います。
11	東内さんのP50の人材育成を展開できるような研修？事業？実践しなければならぬと強く感じました。
12	団塊世代の活力には団塊世代と行政両者の意識が必要であると感じた。実現すれば、現在の介護、地域社会に関する問題の殆どが解決するのではと感じた。

### 3. 調査結果のまとめと考察

#### 地域社会への回帰・参加について

- ・ 団塊世代(55～64歳)で、現在は市民活動に参加していない人のうち8割が、今後、参加したいとしている(問11)。現在、市民活動に参加していない理由は、「時間がない」、「きっかけがない」、「活動の場や情報がない」から(問10-2)。

#### 〈団塊世代の社会参加促進に向けた取り組み〉

現役時代からの社会参加の必要性・意義のPR

団塊世代参加型イベントの開催

イベント情報のPR方法や開催方法・企画面での工夫 などが必要である。

- ・ 55～59歳の4割、60～64歳の7割強が、今後、市民活動に参加するとしたら、地域の活動グループ(組織・団体など)に参加するとしている(問12)。また、団塊世代が今後、ともに活動したい年代は、自分と同年代と、自分と異なる年代がほぼ同じ割合となっている。(問13)。
- ・ しかし、全体の6割、現役世代の7割が、自分が住んでいる地域にどのような活動グループがあり、どのような活動が行われているかを知らない。現在、市民活動に参加している人でも3割は、他の活動グループやその活動内容を知らない(問14)。
- ・ 活動グループや活動内容を知っている人は、自治体広報誌や家族・友人・知人に教えられて知った人が多い。特に団塊世代を含む50歳以上では、家族などに教えられて知った人が多い(問15)。
- ・ 各種のキャリア、スキルを持つ人の8割以上、また、キャリア、スキルを特に持たない人の多くが、今後、市民活動に参加したいとしている。

#### 〈市民活動グループの周知、団塊世代の参加・活動促進に向けた取り組み〉

活動グループの存在と活動内容・構成メンバーなどの現役世代に向けた発信

体験入会など活動団体への参加の心理的バリアを軽減し、新たなキャリア形成につながるような仕組みづくり

活動グループと意欲・興味・関心がある人とのマッチング

活動グループ合同でのイベント共催による、PR効果の向上とグループ間のネットワーク形成のきっかけづくり

自治体広報誌に馴染みの薄い団塊世代男性向けに、その家族に対する情報発信の工夫や企業・学校同窓会ネットワークの活用

活動を継続させるうえで必要なスキルアップのための公的研修制度

などが必要である。

## 市民活動のリーダーについて

- ・ 地域での市民活動のリーダーとしてふさわしい人として、「自治会、商工会など地域の事情をよく知る民間団体などの人」が 6 割、「NPO、学識経験者、コンサルタントなどまちづくりの専門家」が 4 割（問 17）。
- ・ 団塊世代の 4 割がリーダー育成講座・研修に参加したいとしている（問 18）。講座・研修に対する団塊世代の要望として 5 割強が、「習得したスキルを実際の市民活動で活用できる場・機会の斡旋・紹介」、「講座・研修修了後の、講師や受講者同士のネットワーク・つながりの継続」としている（問 19）。
- ・ 4 割がリーダーの育成・活躍のために、最低限必要な活動報酬の支給と、行政を含めた地域社会全体での支援が必要としている。また、プレ団塊世代（60～64 歳）では 5 割が、活動が地域の中で認知されやすくするよう、公的な役職の委嘱などが必要としている（問 20）。
- ・ 特に、現在、市民活動に参加している人の 5 割が、最低限必要な活動報酬の支給が必要としている。

### 〈自らがリーダーとして市民活動に取り組みたいという意欲の実現に向けた取り組み〉

意欲を行動・実践に結びつけるような講座・研修の企画面での工夫  
講座・研修修了後の人的ネットワークの継続や相談体制など、リーダーの孤立化を防ぐための受け皿・仕組みづくり  
リーダーの過度の負担感を軽減するための、資金面での活動支援策の拡充  
などが必要である。

## 地方・田舎(農山漁村地域)への移住・2地域居住について

- ・ 団塊世代で、リタイア後に農山漁村地域に移り住みたいと思うのは 4 割。5 割が「移り住みたいとは思わない」としている(問 21)。また、2地域居住をしてみたいと思うのは 4 割強で、ほぼ同数が 2地域居住をしてみたいとは思わない(問 22)。
- ・ 移住する場合に気になることは、生活環境(買い物・病院・学校など)、必要な生活費、自然環境、地域の人々との付き合い・コミュニティ(問 23-1)の順。また、2地域居住する場合に気になることもほぼ同様の結果であるが、移住する場合と比べて、必要な生活費を気にする割合はやや低い。移住・2地域居住いずれの場合も、家族の同意はほとんど気にしていない(問 23-2)。
- ・ 移住・2地域居住を検討する方法は、体験談、体験居住、説明・現地案内、地域の人々との話し合いの場・会合などへの参加の順(問 24)。

(都市部におけるリタイア後の団塊世代の移住・2地域居住の促進による、地方都市の活性化に向けた取り組み)

地方都市側の、移住・2地域居住促進体制・受け入れ体制づくり(庁内推進組織づくり、一般市民や町内会・商工会・関連業者・NPO への参画協力募集など)

移住・2地域居住促進の目的、都市部の団塊世代への期待の明確化(「地域コミュニティの担い手確保」、「地域産業・地場産業の復興」、「就業人口の増加」、「地域内消費・地域経済の拡大」など)

「現地案内」、「体験談」、「地域の人々との交流」をセットにした体験居住ツアーの企画や、生活環境・生活費・自然環境に関する情報提供など、移住・2地域居住にかかるサービスに一元的に対応し推進する総合窓口の設置

などが必要である。